

3. 就業に対する意識について

A 現在の仕事への考えについて

(1) 働いている理由

(1) 現在、働いている一番の理由は何ですか。【○は1つ】

働いている理由については、「家計を支える中心であるため」が48.1%と最も高く、次いで「家計を補う（助ける）ため」が29.4%、「社会の一員としての務めを果たすため」が6.3%の順となっており、前回調査との比較では大きな差は見られない。

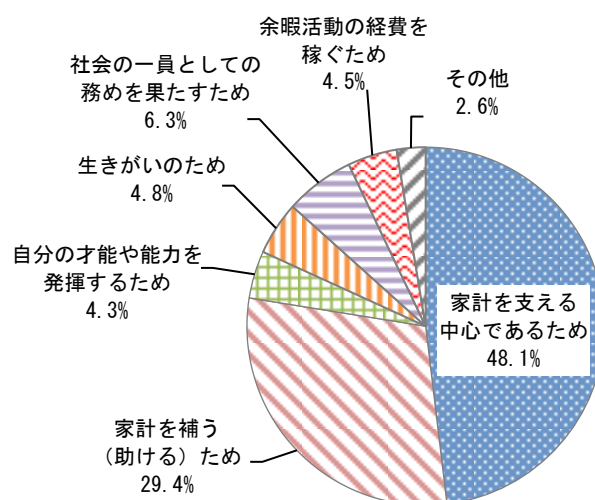
性別でみると、〈男性〉では「家計を支える中心であるため」が67.0%、〈女性〉では「家計を補う（助ける）ため」が44.5%と、それぞれ最も高くなっている。

性別・年代別でみると、〈男性〉では25歳以上の層で「家計を支える中心であるため」が最も高く、〈女性〉では〈20～24歳〉を除くすべての層で「家計を補う（助ける）ため」が上位2位以内となっている。

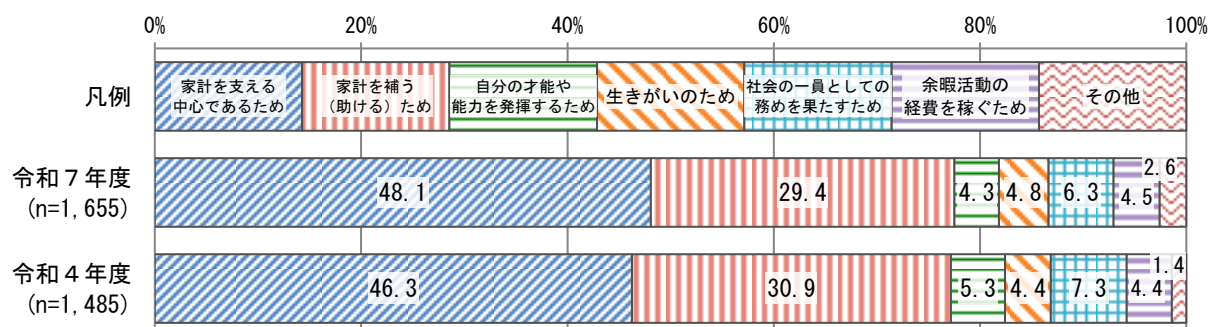
また、〈男性〉〈女性〉ともに〈70歳以上〉で「生きがいのため」が他の層よりも6ポイント以上高くなっている。

正規・非正規の別でみると、〈正規〉と〈自営業 他〉では「家計を支える中心であるため」が、〈非正規〉では「家計を補う（助ける）ため」が、それぞれ最も高くなっている。

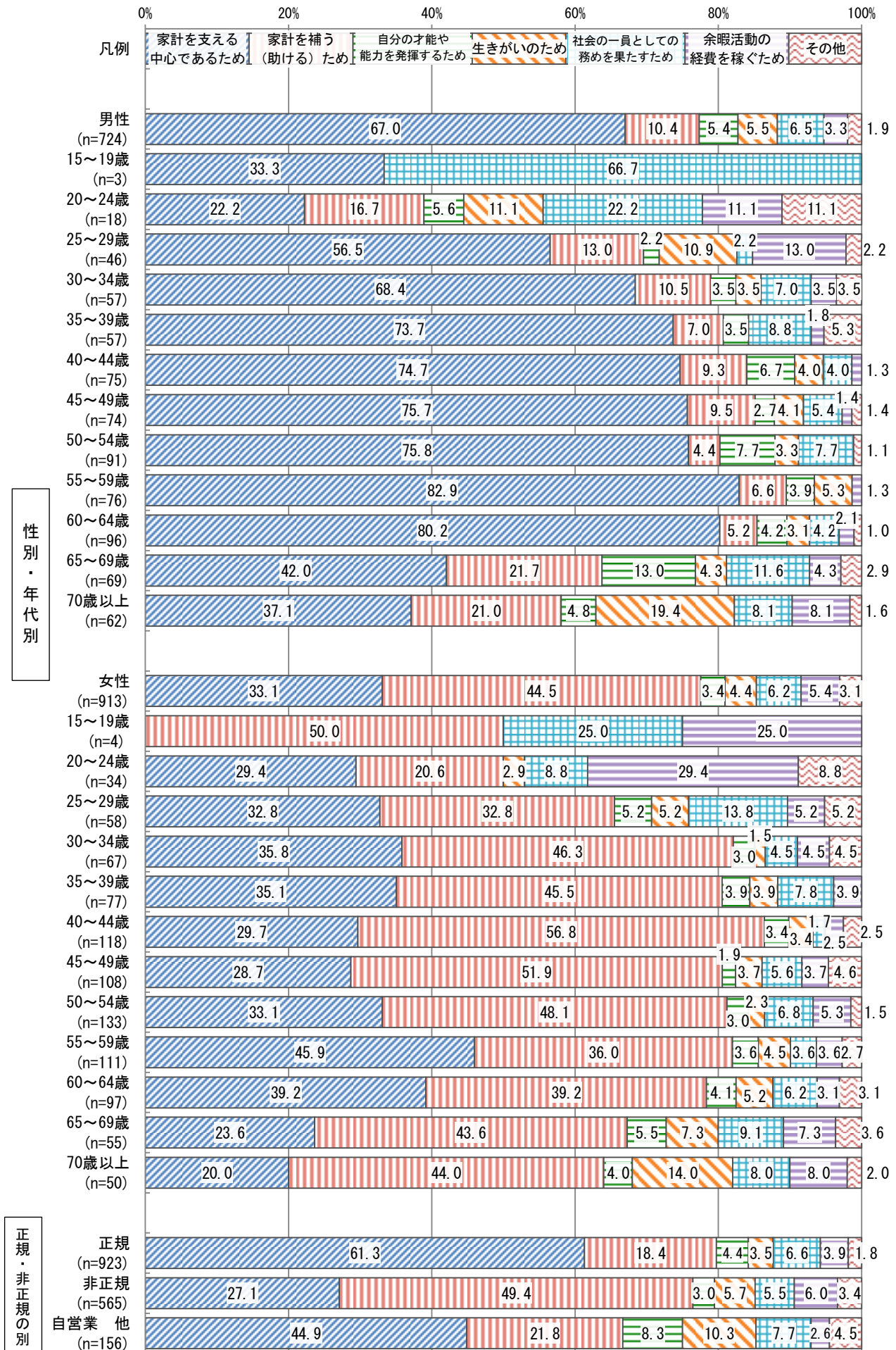
■ 働いている理由〔回答数=1,655〕



【前回調査との比較】



【性別・年代別／正規・非正規の別（働いている理由）】



(2) 仕事の満足度

(2) 現在の仕事に満足していますか。【○は1つ】

仕事の満足度については、「どちらとも言えない」が45.3%と最も高く、次いで「満足している」が39.6%、「満足していない」が15.1%の順となっている。

前回調査との比較では、大きな変化は見られない。

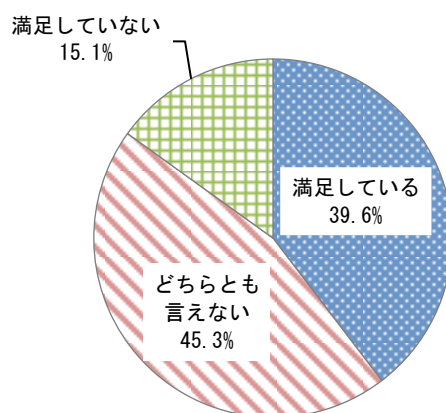
性別でみると、〈男性〉では「満足している」が、〈女性〉では「どちらとも言えない」が、それぞれ最も高くなっているが、〈男性〉では「満足している」が42.5%、「どちらとも言えない」が41.4%とその差はわずかとなっている。

性別・年代別でみると、〈男性〉では「どちらとも言えない」が25～34歳の層で6割台、70歳以上で2割台、それ以外の層で3～5割であるのに対し、〈女性〉ではすべての層でほぼ4割～5割台となっている。

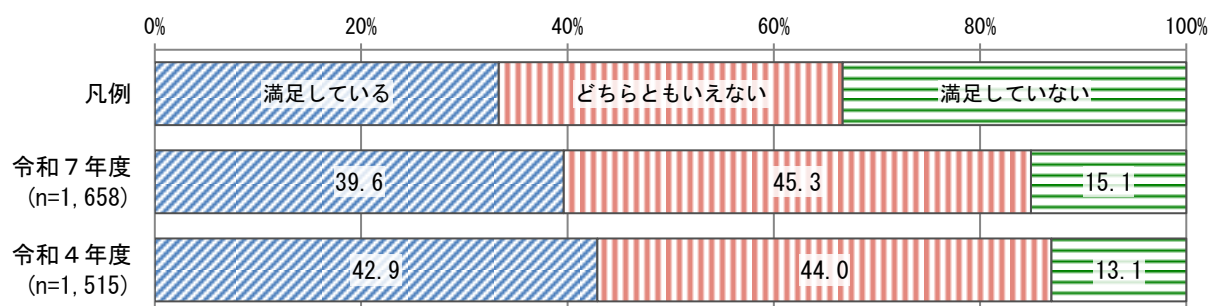
正規・非正規の別でみると、〈正規〉で「満足している」が35.7%と他の層より6ポイント以上低くなっている。

また、〈自営業 他〉では「満足している」が54.8%と他の層より12ポイント以上高くなっている。

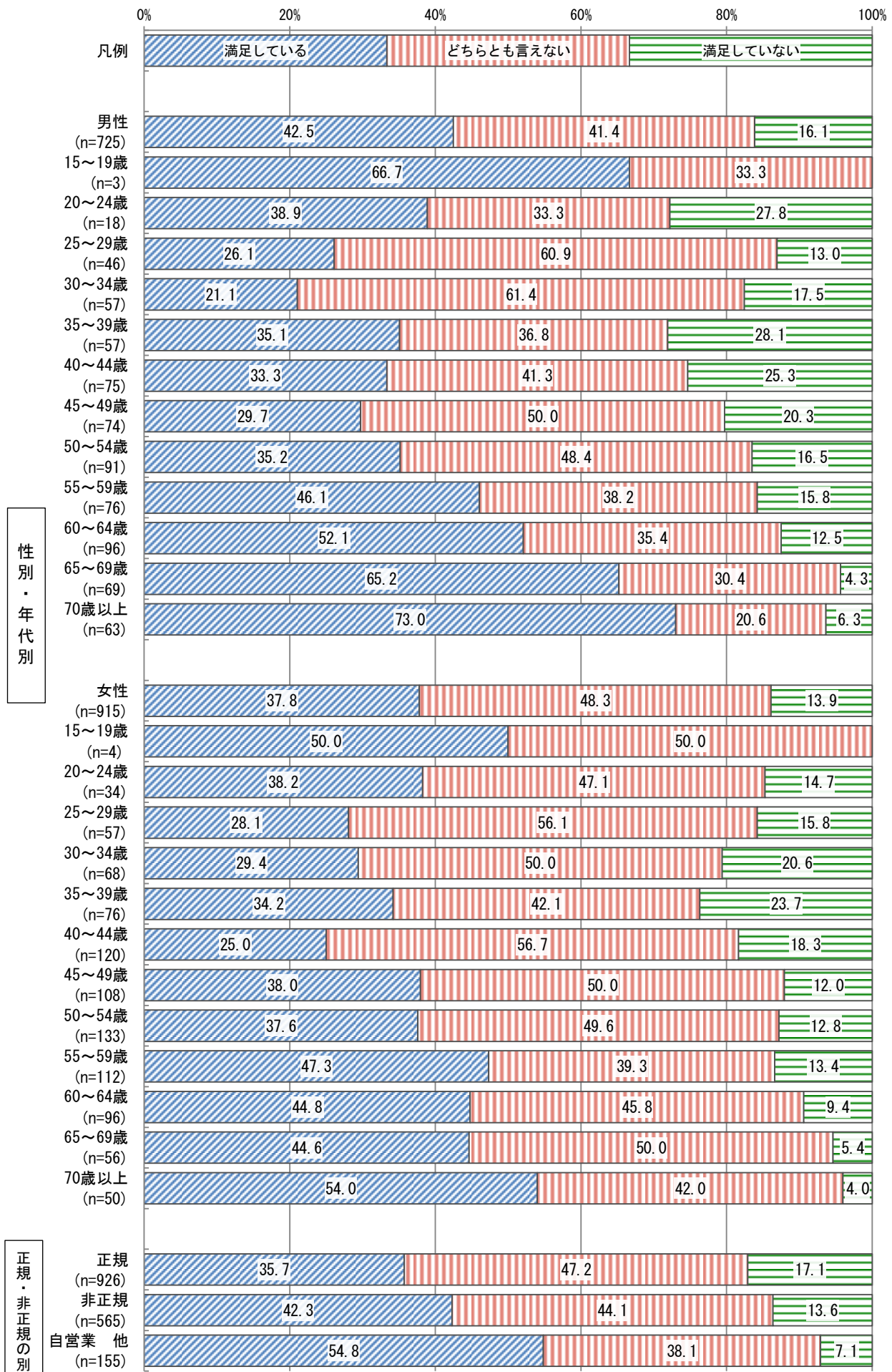
■ 仕事の満足度〔回答数=1,658〕



【前回調査との比較】



【性別・年代別／正規・非正規の別（仕事の満足度）】



(3) 仕事に満足している理由

(3) 現在の仕事に対して満足している理由は何ですか。【○はいくつでも】

仕事に満足している理由については、「労働時間がちょうどいい」が 47.6%と最も高く、次いで「人間関係が良い」が 42.2%、「やりがいがある」が 41.4%の順となっている。

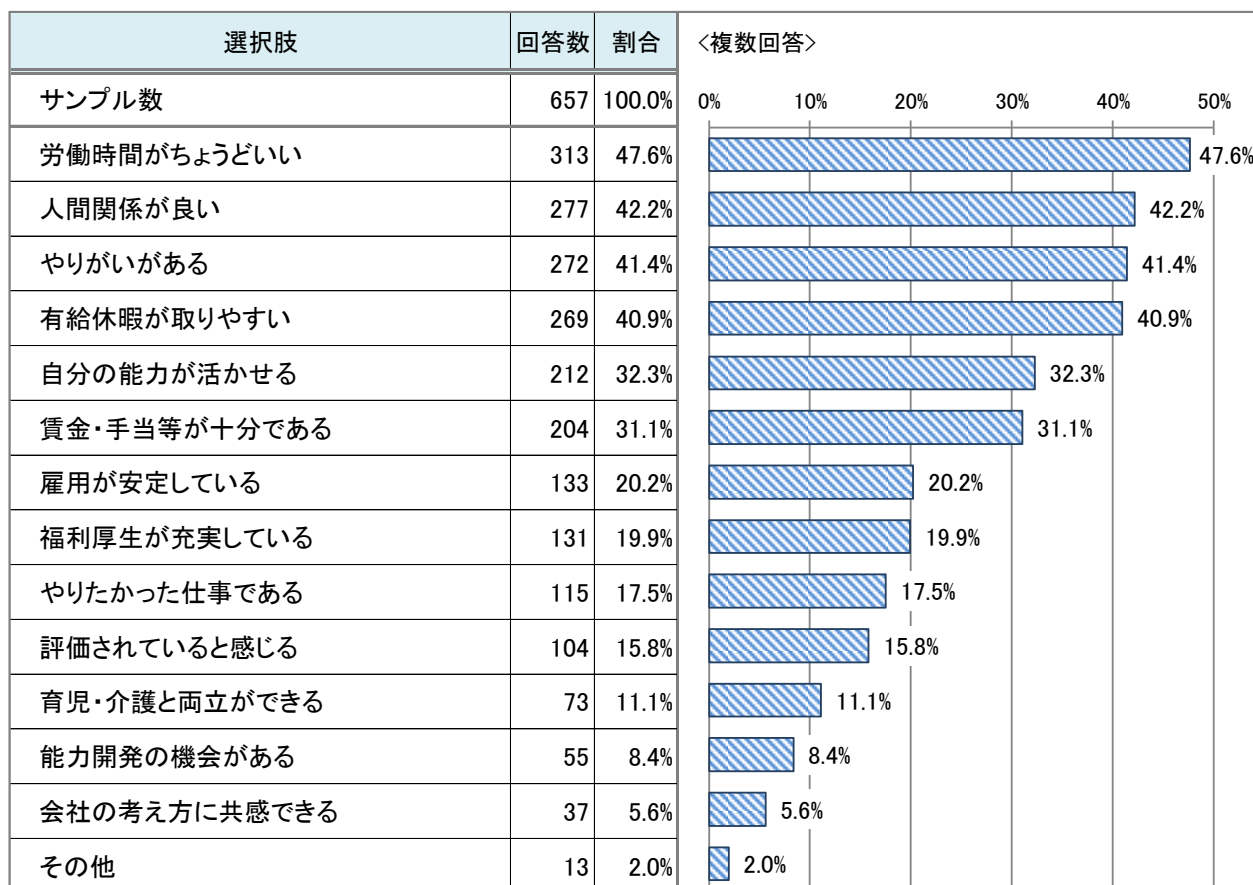
前回調査との比較では、「賃金・手当等が十分である」が 4.6 ポイント増加し、「雇用が安定している」が 6.5 ポイント減少している。

性別でみると、〈男性〉では「やりがいがある」が最も高く、次いで「労働時間がちょうどいい」、「自分の能力が活かせる」の順となっており、〈女性〉では「労働時間がちょうどいい」が最も高く、次いで「人間関係が良い」、「有給休暇が取りやすい」の順となっている。また、〈男性〉は〈女性〉より「自分の能力が活かせる」が、〈女性〉は〈男性〉より「労働時間がちょうどいい」、「人間関係が良い」、「有給休暇が取りやすい」、「育児・介護と両立ができる」が、それぞれ 10 ポイント以上高くなっている。

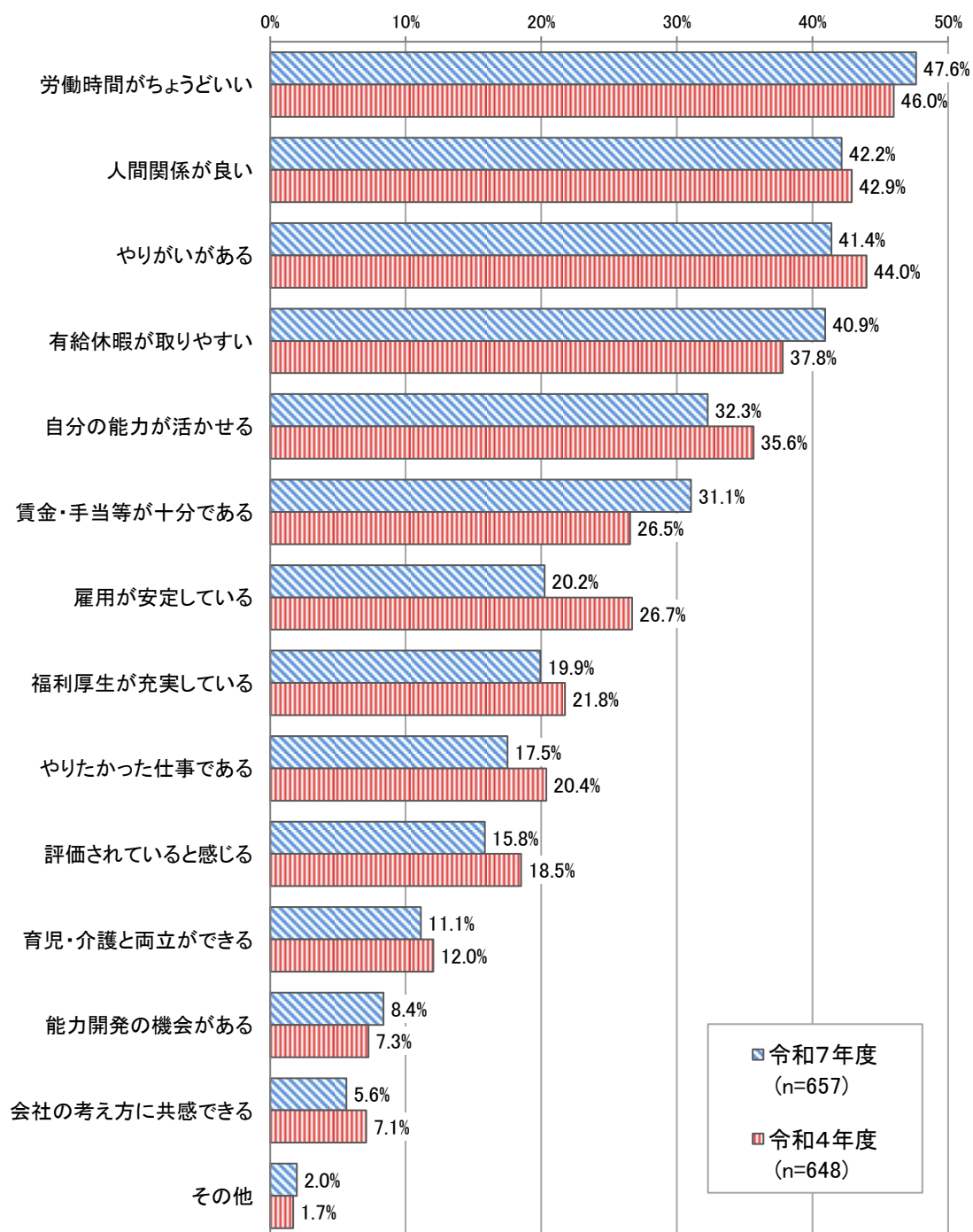
正規・非正規の別でみると、〈正規〉では「有給休暇が取りやすい」が、〈非正規〉では「労働時間がちょうどいい」が、〈自営業 他〉では「やりがいがある」が、それぞれ最も高くなっている。

特に、〈非正規〉では「労働時間がちょうどいい」が 69.9%と他の層より 33 ポイント以上高くなっている。また、〈正規〉では「賃金・手当等が十分である」、「福利厚生が充実している」が、他の層より 16 ポイント以上高くなっている。また、〈自営業〉では、「有給休暇が取りやすい」、「人間関係がよい」、「福利厚生が充実している」、「雇用が安定している」が他の層より 10 ポイント以上低くなっている。

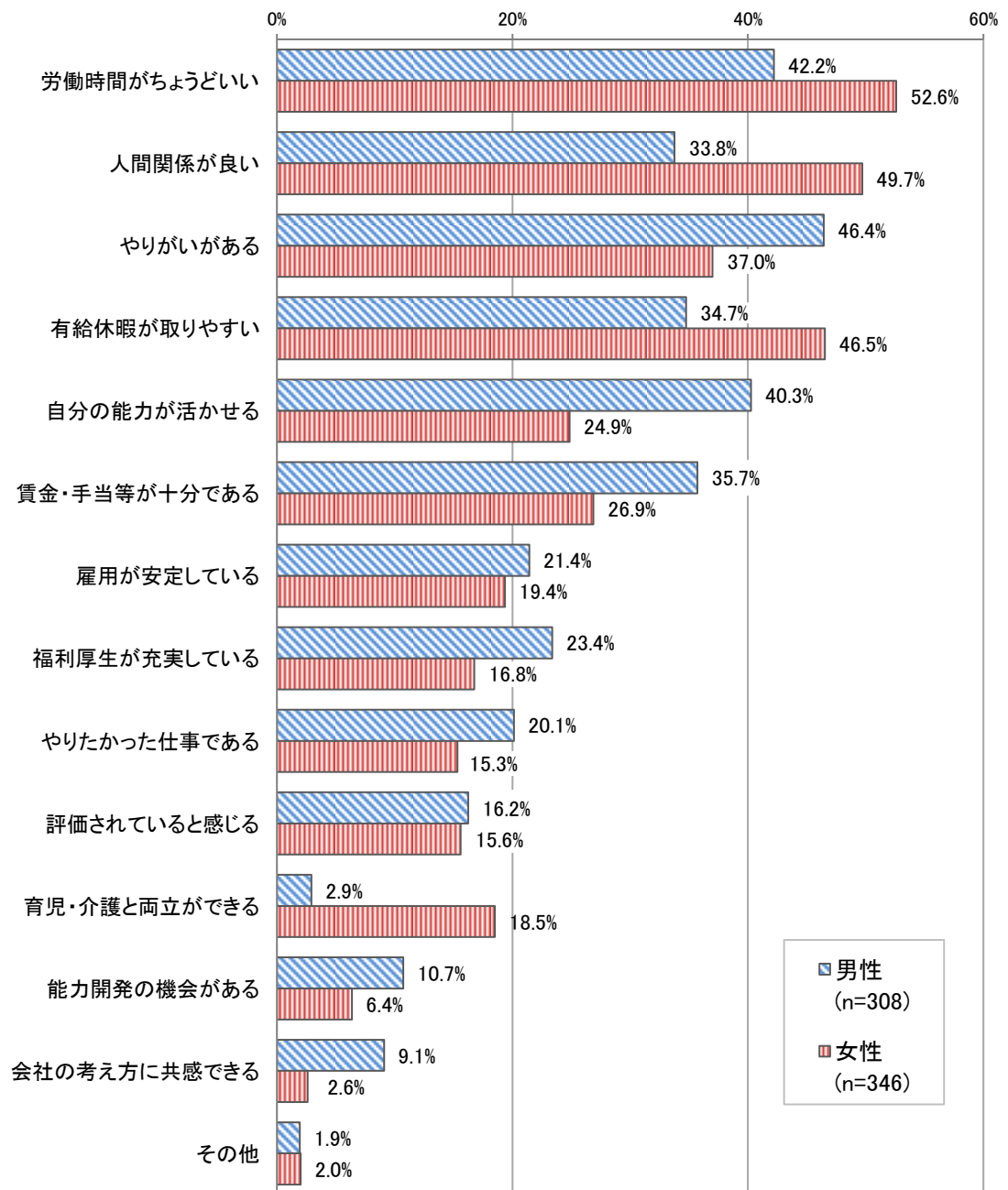
■仕事に満足している理由〔回答数 = 657〕



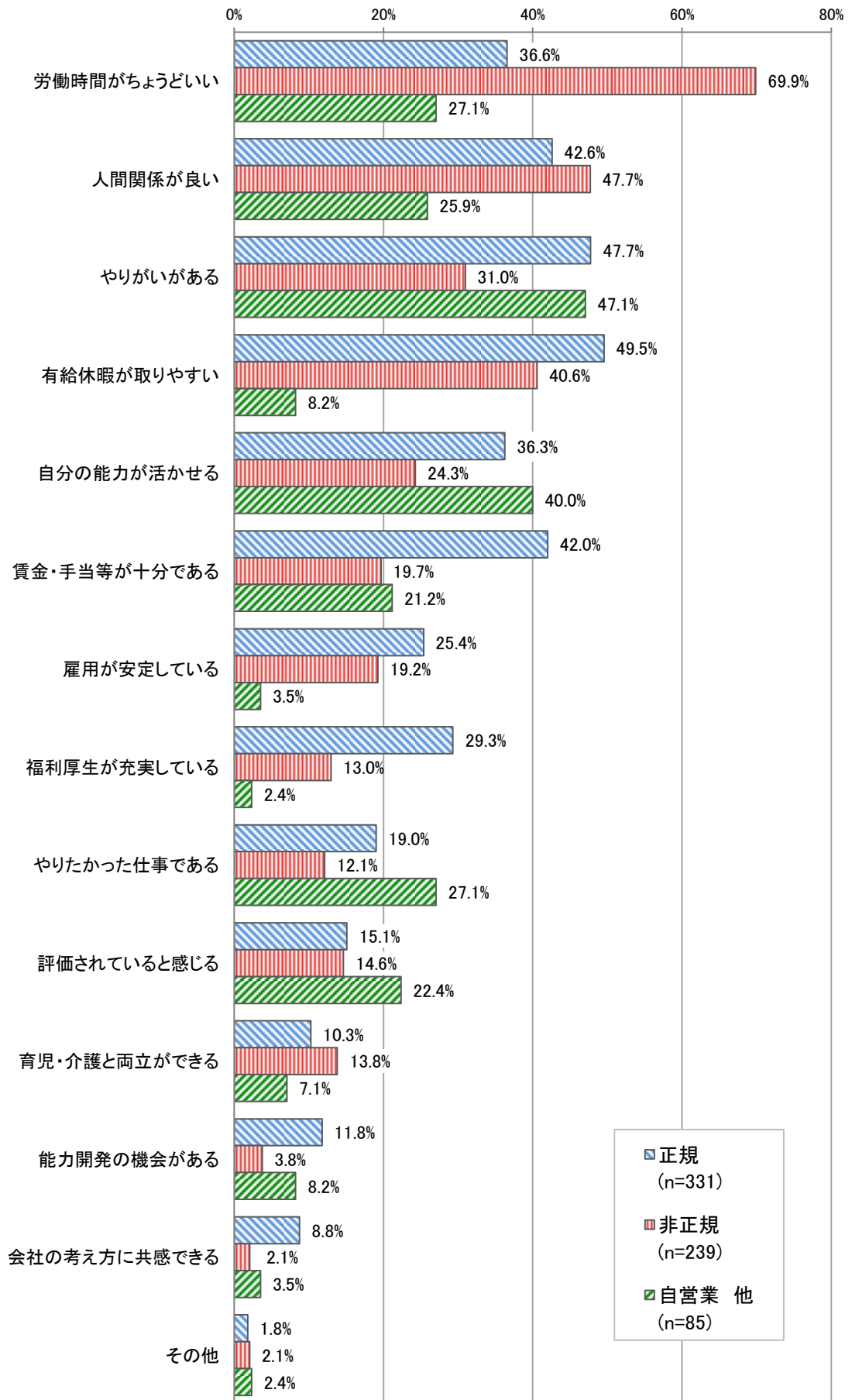
【前回調査との比較】



【性別（仕事に満足している理由）】



【正規・非正規の別（仕事に満足している理由）】



(4) 仕事に満足していない理由

(4) 現在の仕事に満足していない理由は何ですか。【○はいくつでも】

仕事に満足していない理由については、「賃金・手当等が不十分である」が 71.3%と最も高く、次いで「人間関係が悪い」が 32.4%、「やりがいがない」が 30.0%の順となっている。

前回調査との比較では、「労働時間が長い」が 12.4 ポイント、「有給休暇が取りにくい」が 11.1 ポイント、それぞれ減少している。

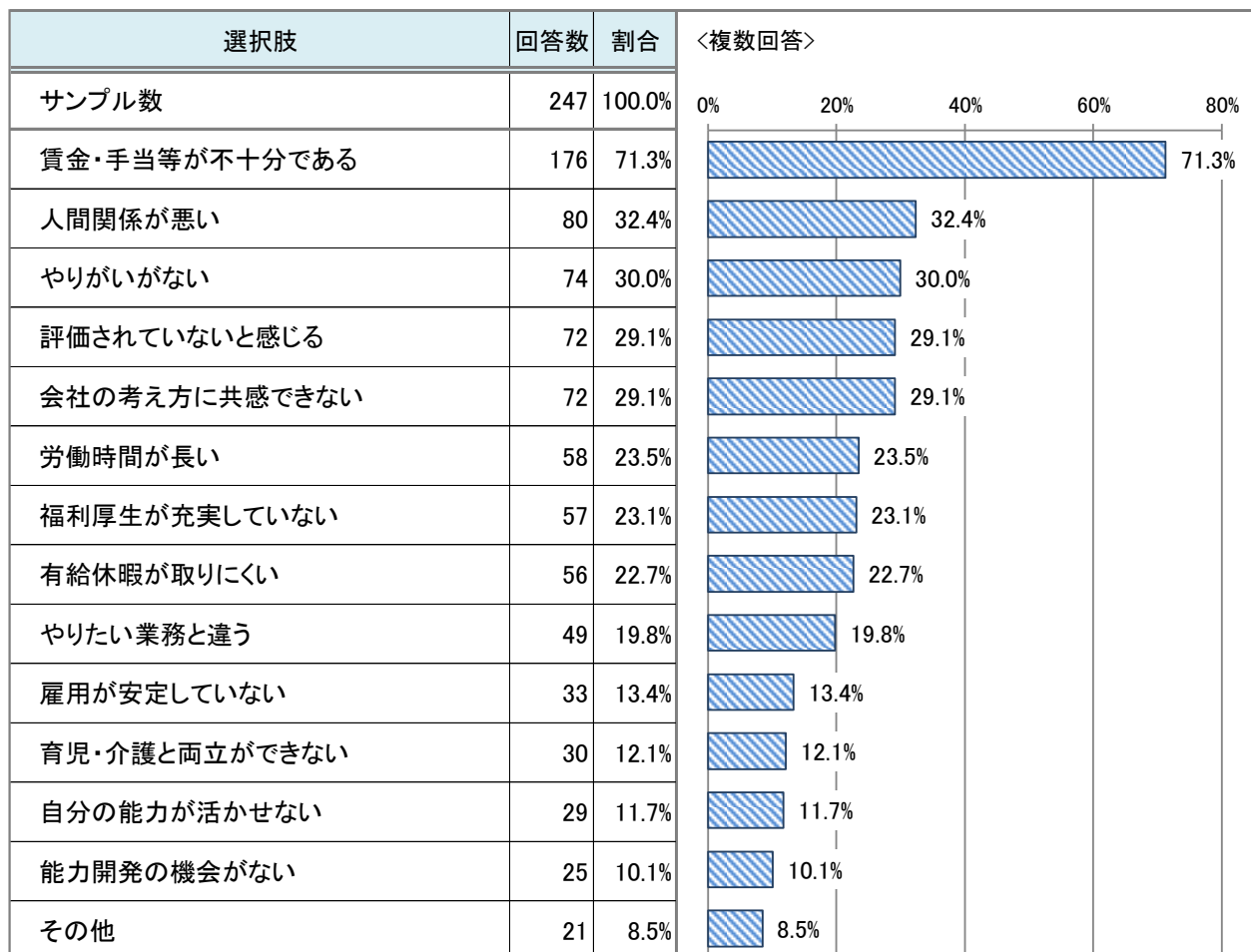
性別でみると、〈男性〉〈女性〉ともに「賃金・手当等が不十分である」が 7 割台、それ以外の項目が 3 割以下と、「賃金・手当等が不十分である」が他の項目より 36 ポイント以上高くなっている。

また、〈男性〉は〈女性〉より「労働時間が長い」、「やりがいがない」、「やりたい業務と違う」の 3 項目で 10 ポイント以上高くなっている。

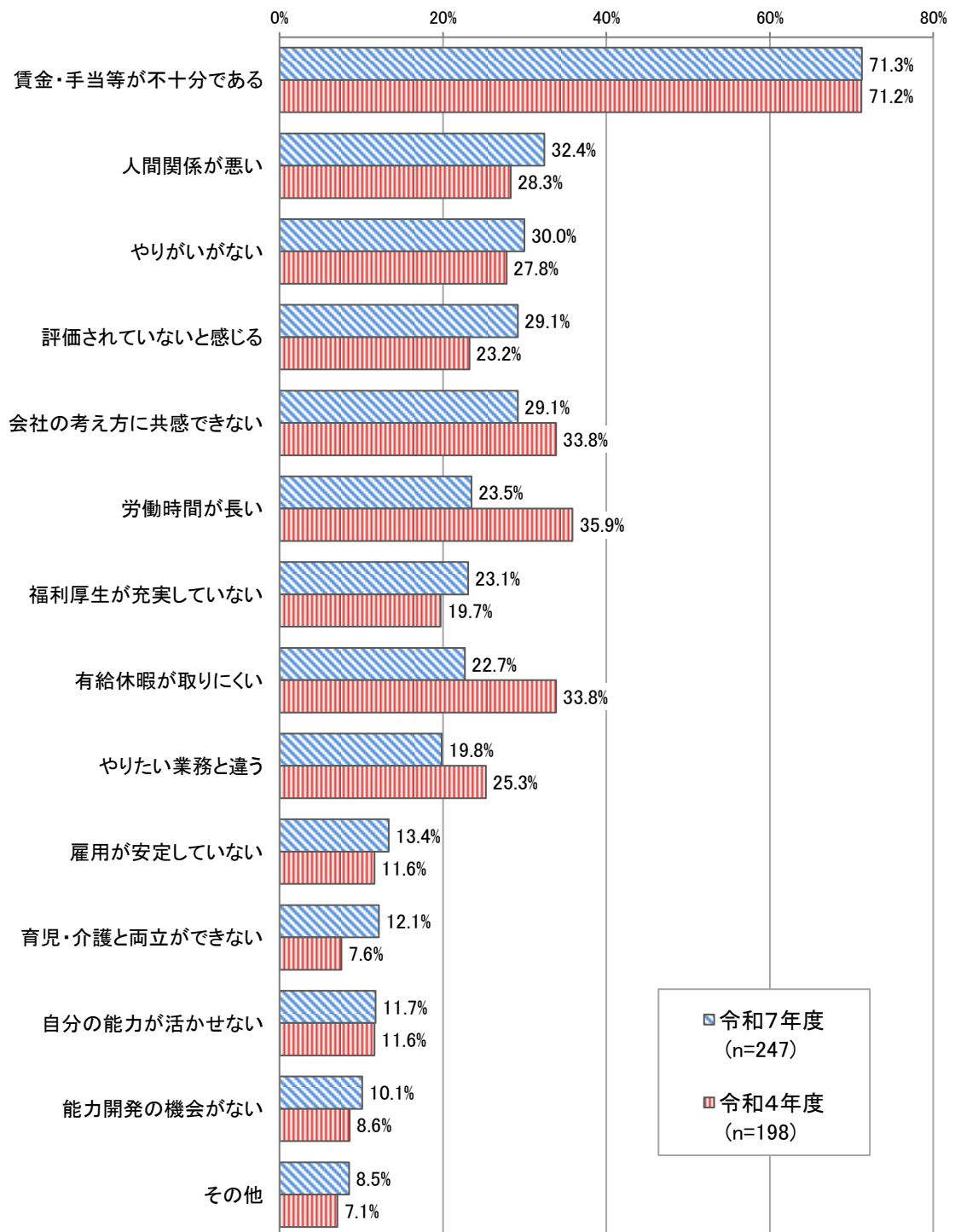
正規・非正規の別でみると、すべての層で「賃金・手当等が不十分である」が最も高くなっている。

また、〈正規〉では「労働時間が長い」、「会社の考え方に共感できない」、「人間関係が悪い」、「やりたい業務と違う」、「育児・介護と両立ができない」が他の層より 10 ポイント以上高くなっている。

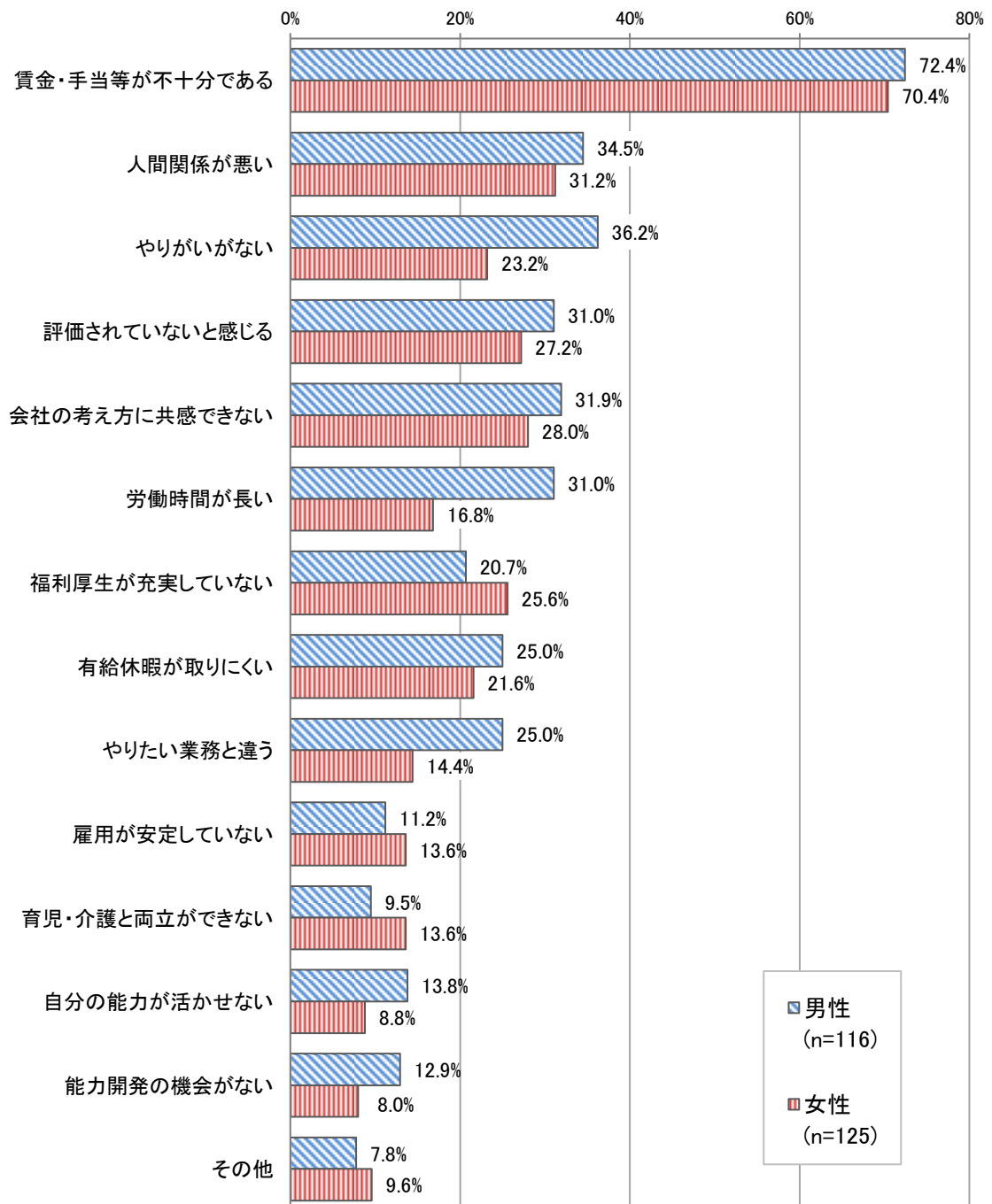
■ 仕事に満足していない理由〔回答数 = 247〕



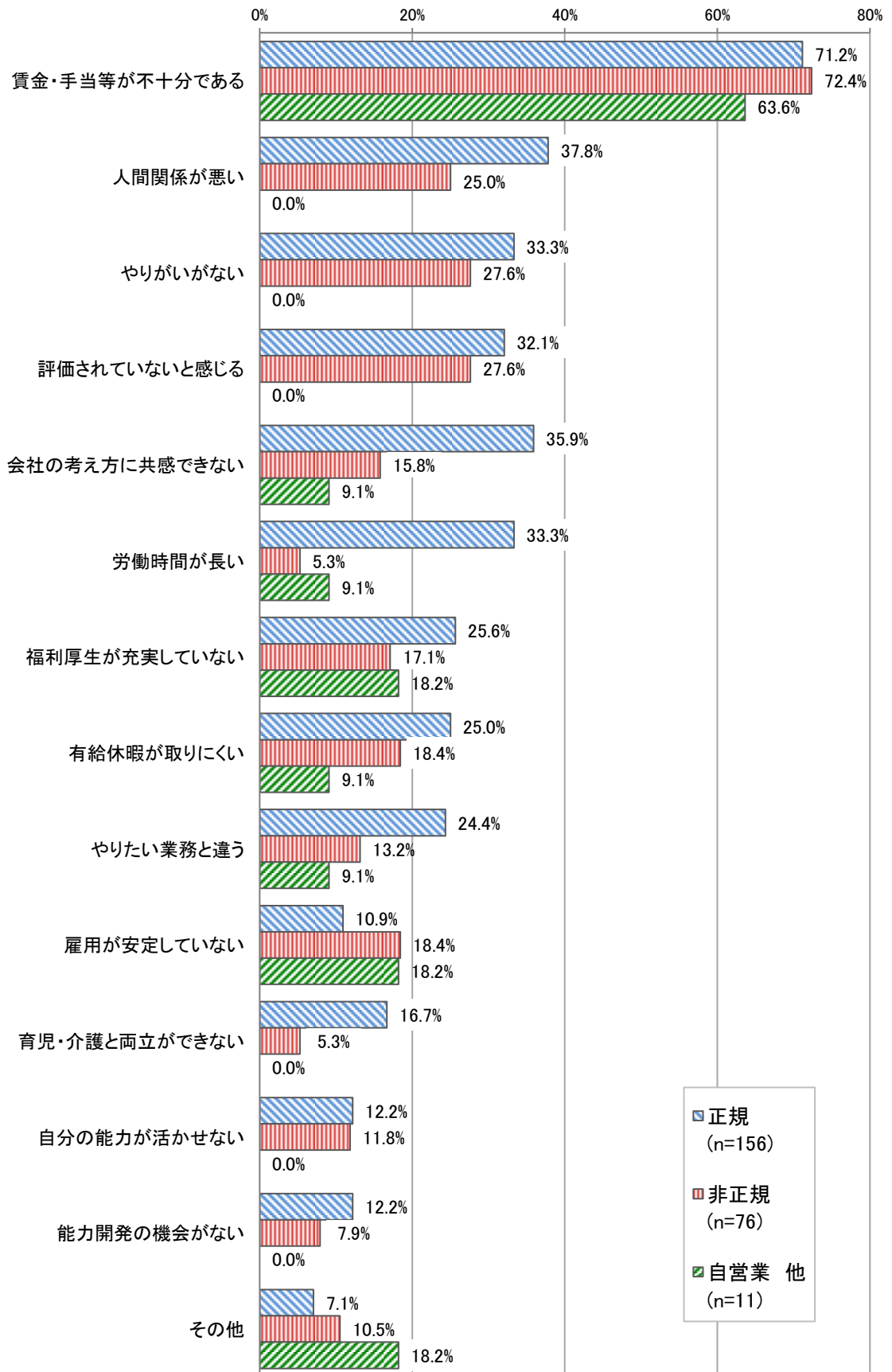
【前回調査との比較】



【性別（仕事に満足していない理由）】



【正規・非正規の別（仕事に満足していない理由）】



（５）長く働くために有効だと思う会社の取組

（５）あなたが今の職場で長く働くために、最も有効だと思う会社の取組は何ですか。【○は1つ】

長く働くために有効だと思う会社の取組については、「賃上げなど給与の充実」が 47.7%と最も高く、次いで「適正な業務量の管理」が 11.2%、「風通しの良い職場づくり」が 9.7%の順となっている。

前回調査との比較では、「賃上げなど給与の充実」が 7.0 ポイント増加している。

性別でみると、〈男性〉〈女性〉ともに「賃上げなど給与の充実」が最も高くなっている。

性別・年代別でみると、〈20～24 歳〉、〈40～44 歳〉、〈70 歳以上〉を除くすべての層で「賃上げなど給与の充実」について〈男性〉が〈女性〉より高くなっている。

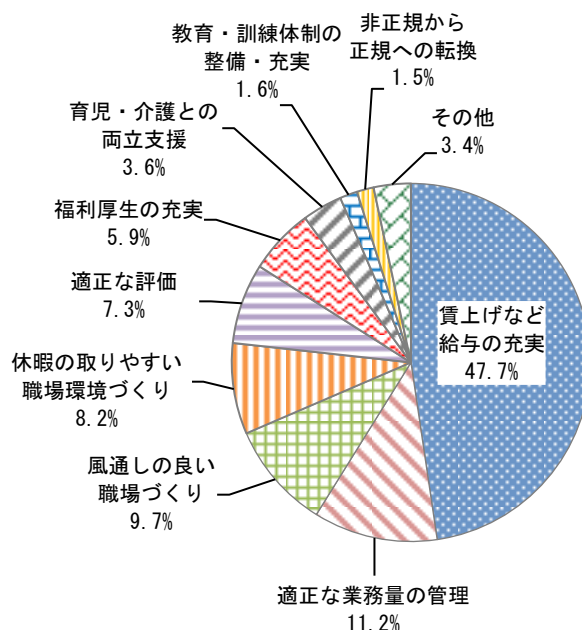
また、〈40～44 歳〉を除くすべての層で、「休暇の取りやすい職場環境づくり」について〈女性〉が〈男性〉より高くなっている。

また、〈男性〉〈女性〉ともに〈70 歳以上〉で「適正な業務量の管理」が最も高くなっている。

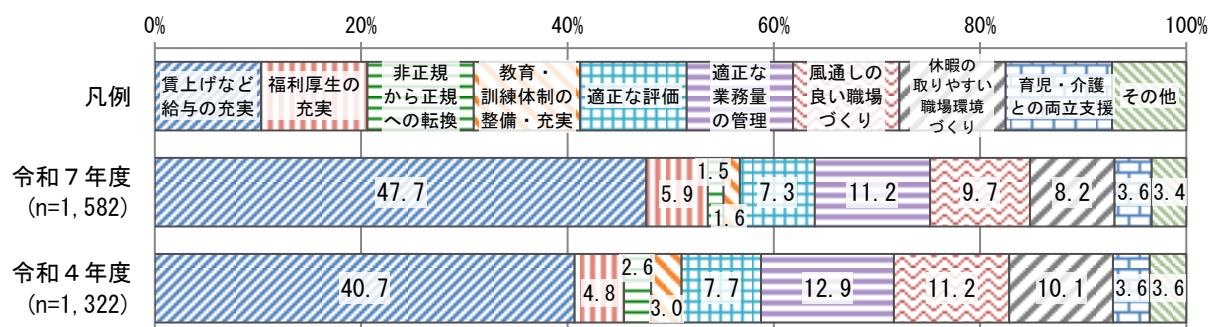
正規・非正規の別でみると、「賃上げなど給与の充実」がすべての層で最も高く、特に〈正規〉では 53.8%と他の層より 13 ポイント以上高くなっている。

また、〈非正規〉では「休暇の取りやすい職場環境づくり」が 13.1%と他の層より 7 ポイント以上高くなっている。

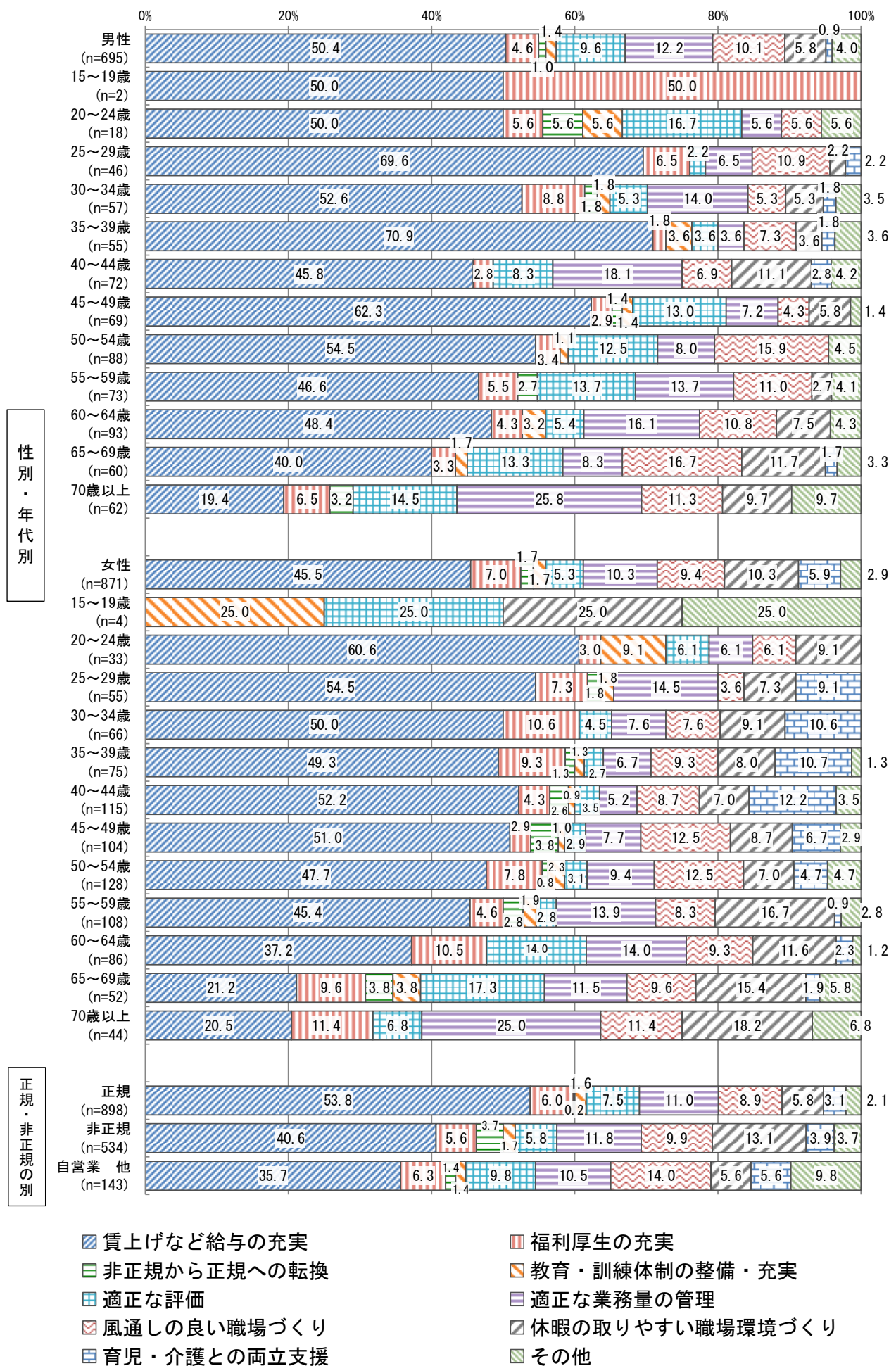
■長く働くために有効だと思う会社の取組〔回答数 = 1,582〕



【前回調査との比較】



【性別・年代別／正規・非正規の別（長く働くために有効だと思う会社の取組）】



(6) 就労希望年齢

(6) 今後、あなたは何歳まで働きたいとお考えですか。【○は1つ】

「就労希望年齢については、働けるうちはいつまでも」が34.3%と最も高く、次いで「61歳～65歳」が26.0%、「66歳～70歳」が14.3%の順となっている。

前回調査との比較では、大きな変化は見られない。

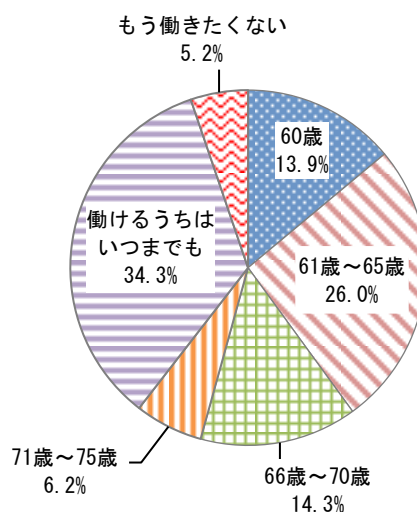
性別でみると、〈男性〉〈女性〉ともに「働けるうちはいつまでも」が最も高くなっている。

性別・年代別でみると、「働けるうちはいつまでも」が、15～29歳、35～54歳、〈60～64歳〉では〈女性〉が〈男性〉より高く、〈30～34歳〉、〈55～59歳〉、65歳以上では〈男性〉が〈女性〉より高くなっている。

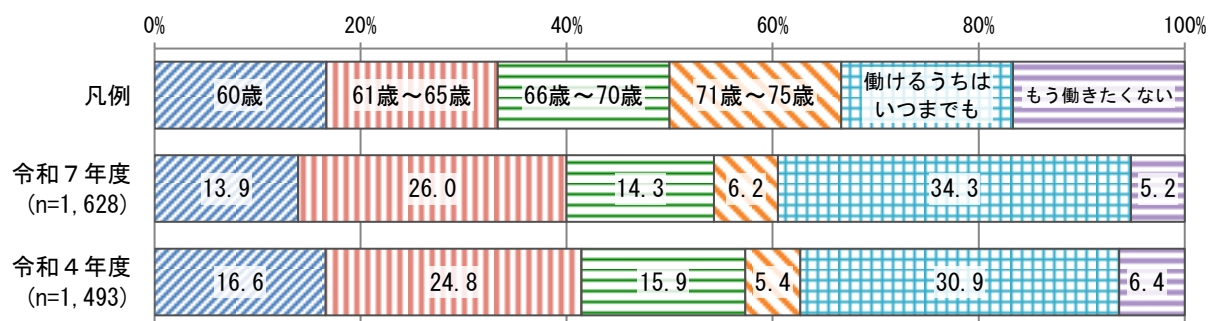
正規・非正規の別でみると、〈正規〉では「61～65歳」が、〈非正規〉と〈自営業 他〉では「働けるうちはいつまでも」が、それぞれ最も高くなっている。

特に、〈正規〉では「61～65歳」が他の層より13ポイント以上、〈自営業 他〉では「働けるうちはいつまでも」が他の層より12ポイント以上、それぞれ高くなっている。

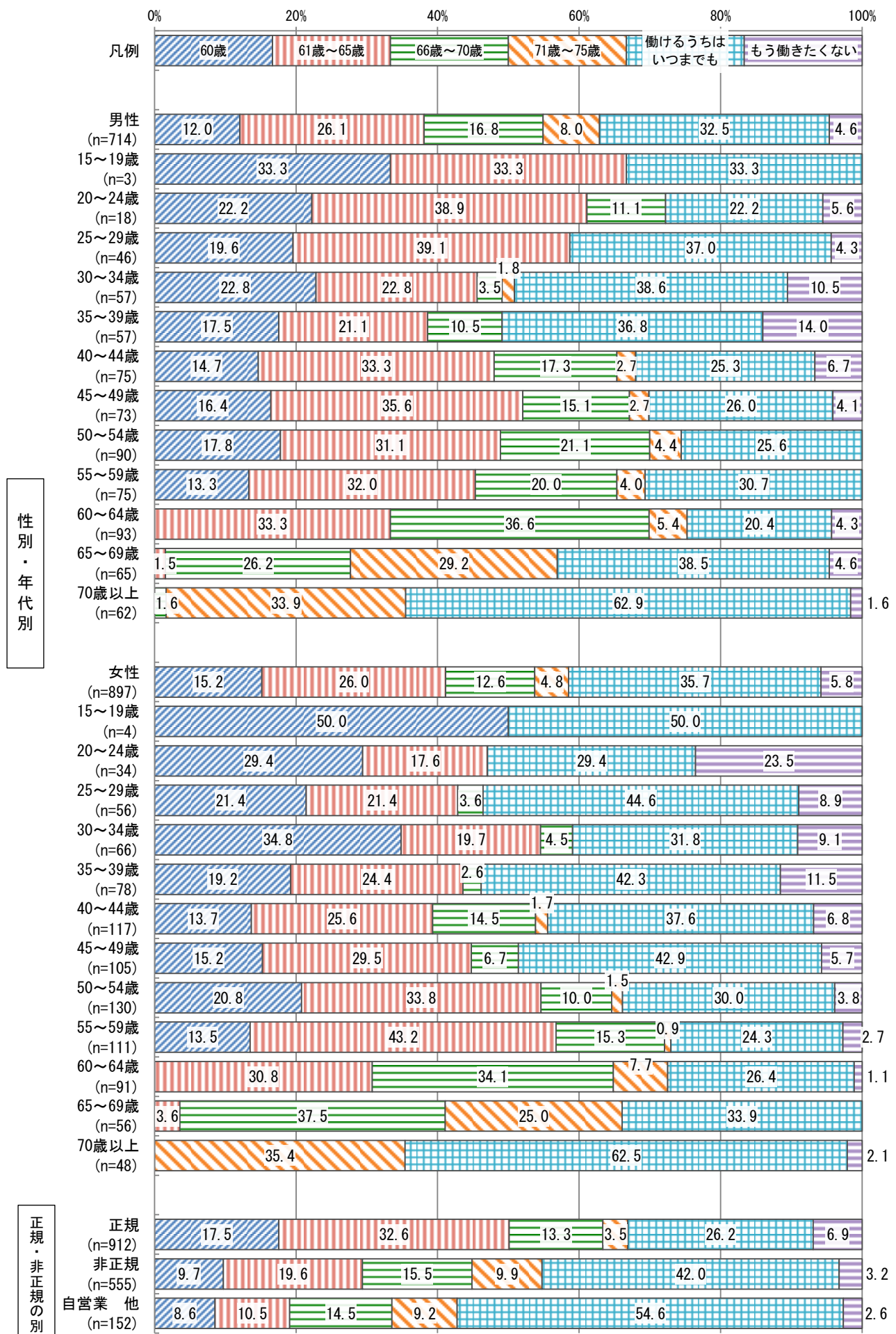
■ 就労希望年齢〔回答数=1,628〕



【前回調査との比較】



【性別・年代別／正規・非正規の別（就労希望年齢）】



B キャリア形成や働き方について

(1) 自己成長のために有効だと思う取組

(1) 働く上で自分自身の成長のために有効だと思う取組は何ですか。【○はいくつでも】

自己成長のために有効だと思う取組については、「資格取得支援制度」が 35.8%と最も高く、次いで「社内での教育研修」が 35.5%、「副業・兼業を認める」が 25.2%の順となっている。

前回調査との比較では、大きな変化は見られない。

性別でみると、〈男性〉は〈女性〉より「他社との人事交流」が 10.4 ポイント高く、〈女性〉は〈男性〉より「社内での教育研修」が 6.3 ポイント高くなっている。

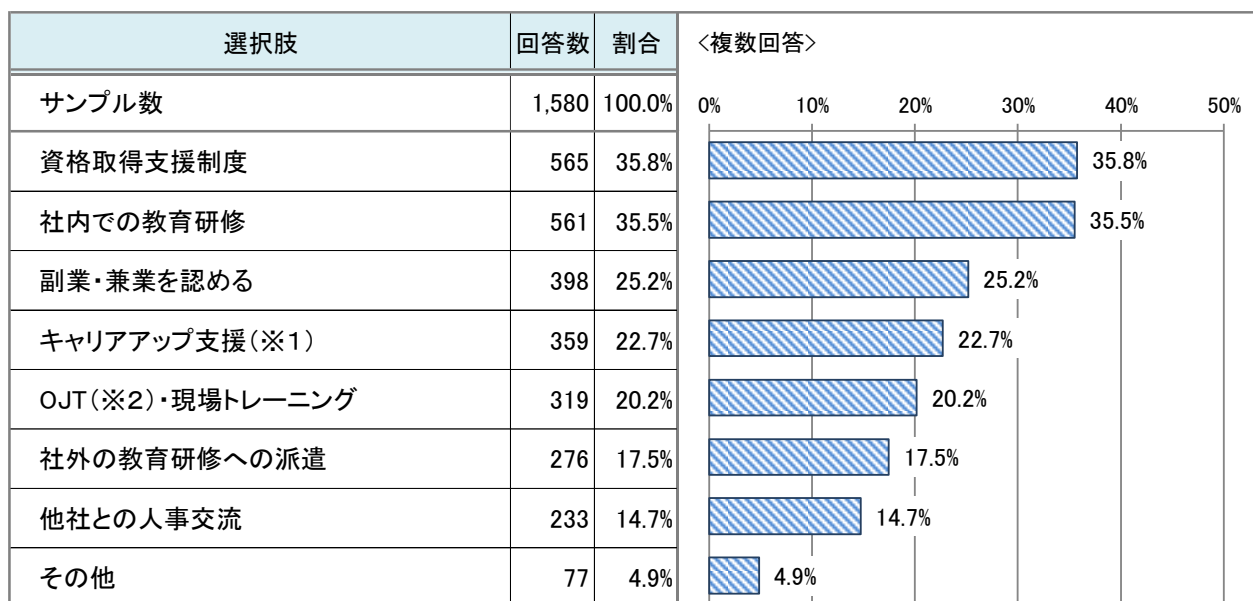
正規・非正規の別でみると、すべての層で「資格取得支援制度」、「社内での教育研修」が上位 2 位以内となっている。

また、〈正規〉では「社外の教育研修への派遣」、「資格取得支援制度」、「副業・兼業を認める」が他の層より 7 ポイント以上高くなっている。

また、〈非正規〉では「他社との人事交流」が他の層より 10 ポイント以上低くなっている。

また、〈自営業 他〉では、「他社との人事交流」が他の層より 8 ポイント以上高くなっている。

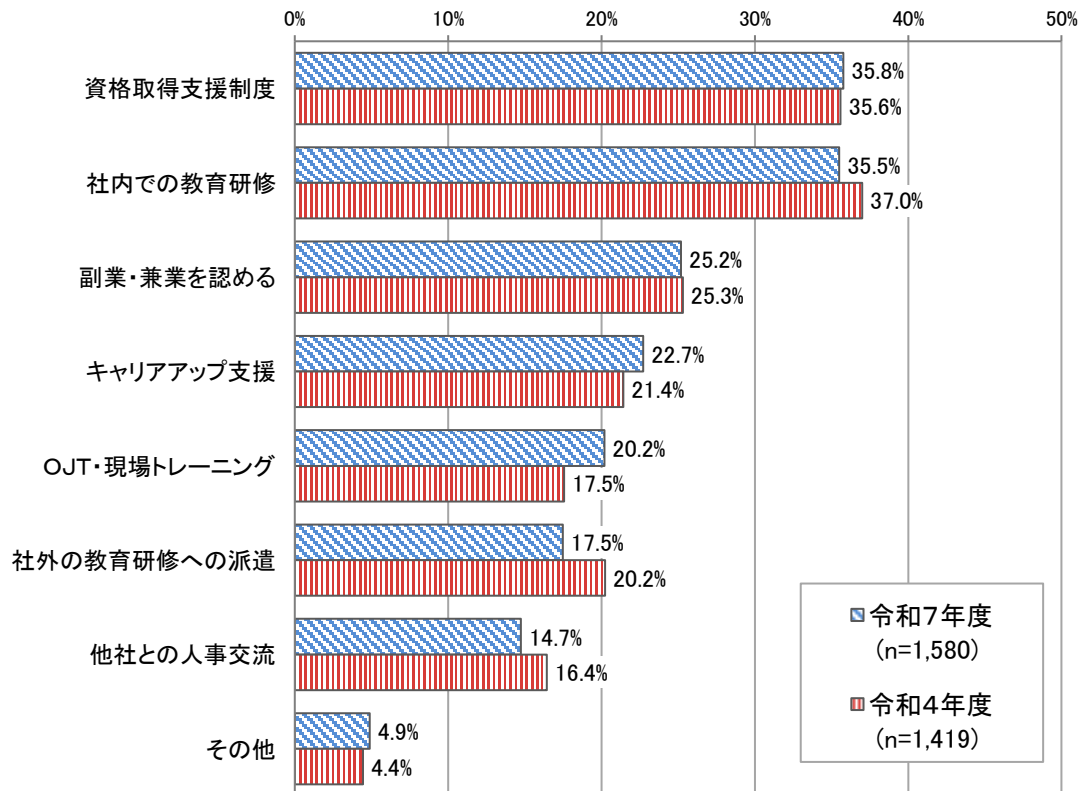
■ 自己成長のために有効だと思う取組〔回答数 = 1,580〕



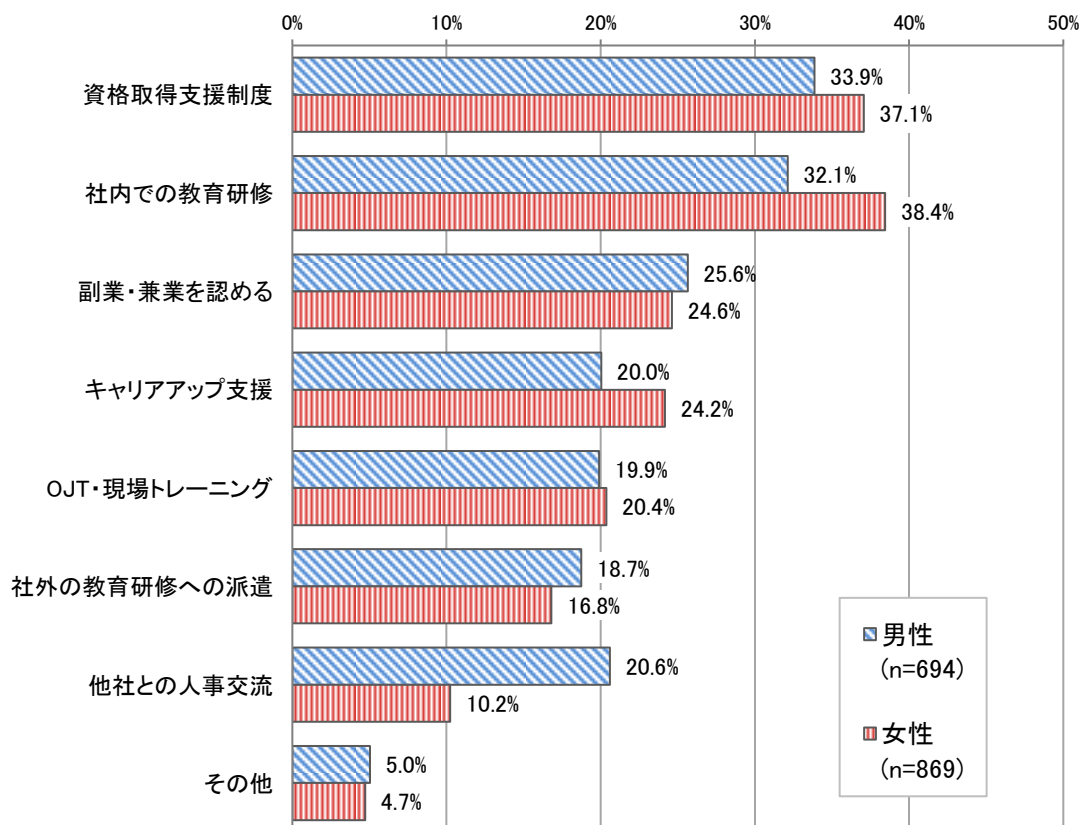
※1 キャリアアップ支援：本人の希望する異動等を申告できる仕組みや、キャリアカウンセリング等

※2 OJT：「On-The-Job Training」の略称で実際の職務現場において、業務を通して行う教育訓練

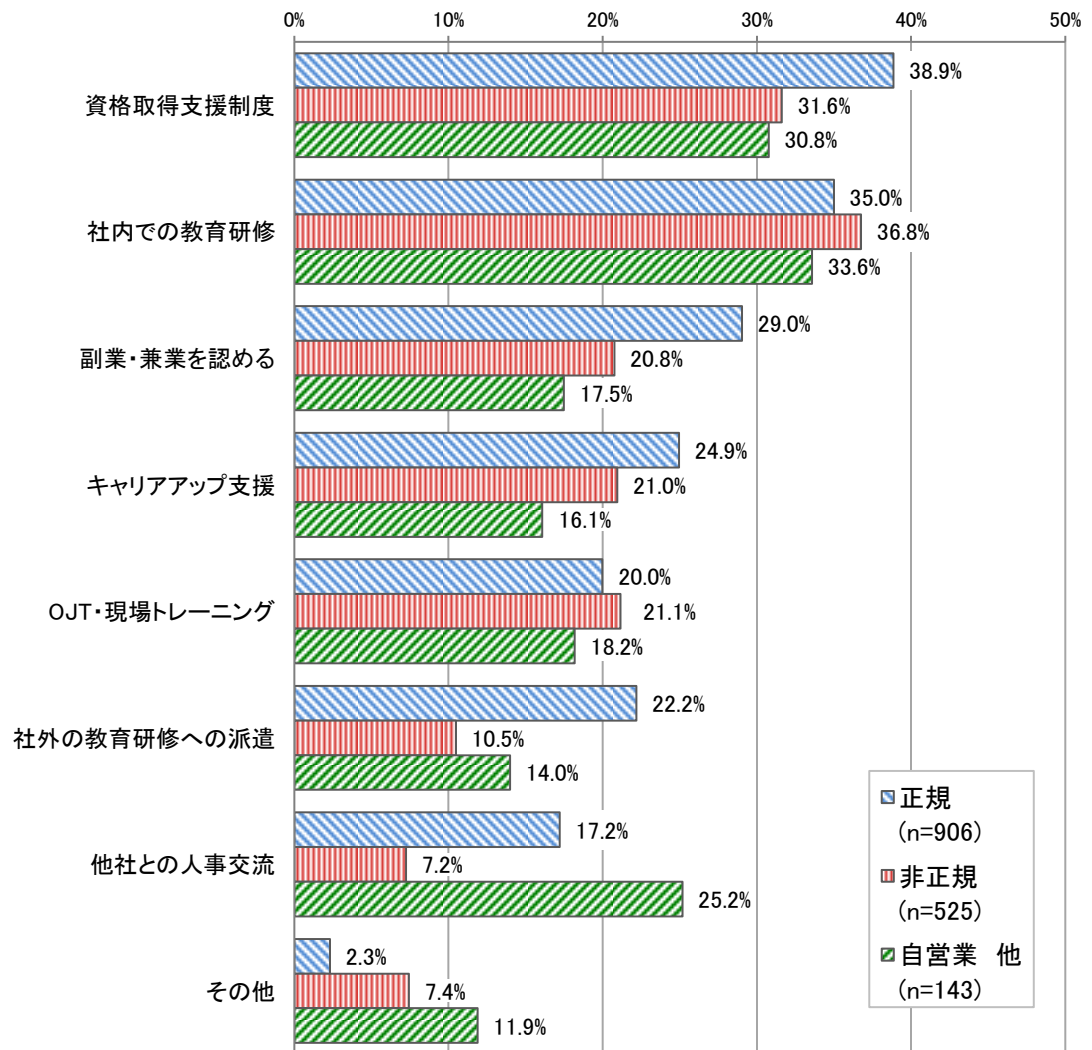
【前回調査との比較】



【性別（自己成長のために有効だと思う取組）】



【正規・非正規の別（自己成長のために有効だと思う取組）】



(2) リスキリング・リカレントの認知度

(2) あなたは、以下の言葉を聞いたことがありますか。【○は1つ】

①リスキリング（事業所主導により、従業員が新たな業務や手法に対応するためにスキルを学ぶこと）

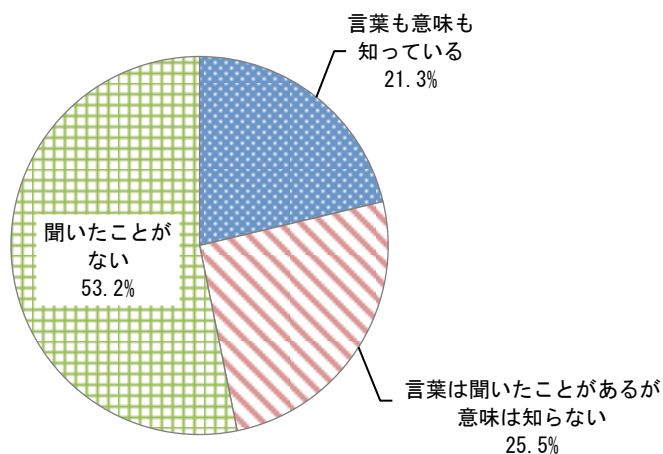
リスキリングの認知度については、「聞いたことがない」が 53.2%と最も高く、次いで「言葉は聞いたことがあるが意味は知らない」が 25.5%、「言葉も意味も知っている」が 21.3%の順となっている。

性別でみると、〈男性〉は〈女性〉より「言葉も意味も知っている」が 11.7 ポイント高くなっている。

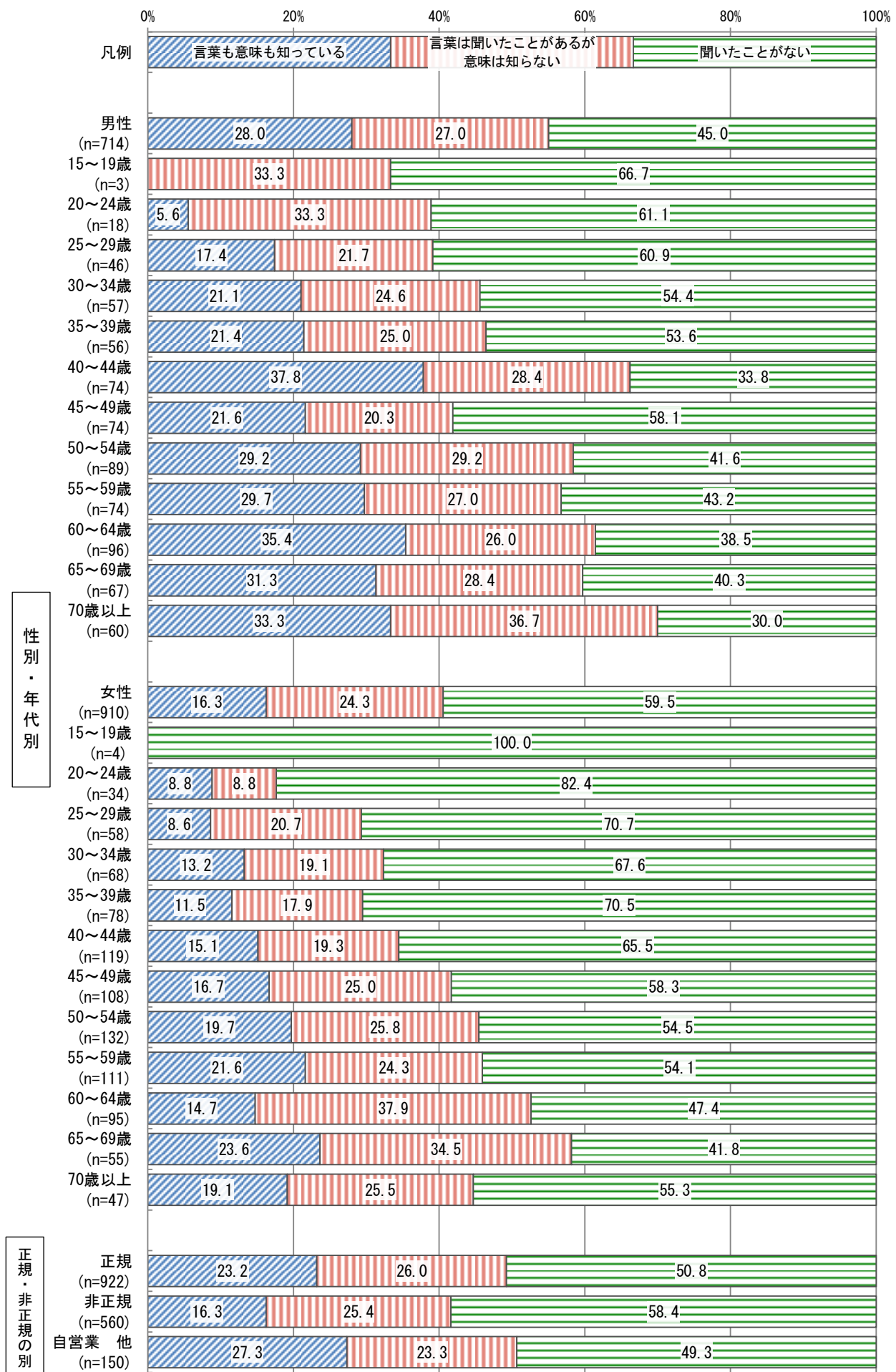
性別・年代別でみると、25 歳以上のすべての層で〈男性〉は〈女性〉より「言葉も意味も知っている」が高くなっている。

正規・非正規の別でみると、〈非正規〉では、「言葉も意味も知っている」が 16.3%と他の層より 6 ポイント以上低くなっている。

■ リスキリングの認知度〔回答数 = 1,641〕



【性別・年代別／正規・非正規の別（リスキングの認知度）】



②リカレント

②リカレント（社会に出た人が、必要に応じて教育機関等で学びなおすこと）

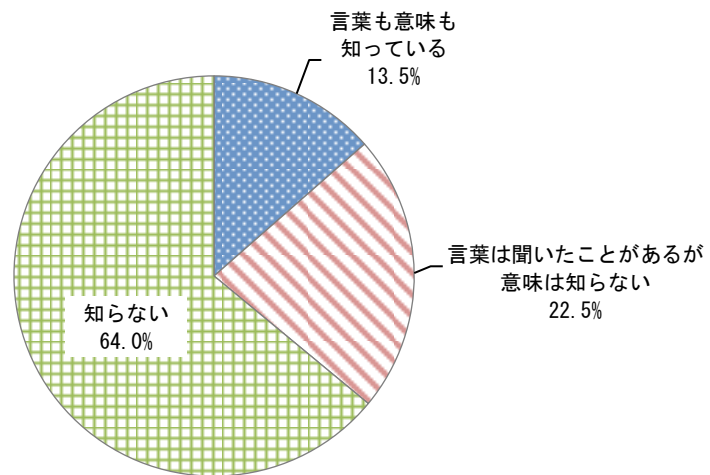
リカレントについては、「知らない」が 64.0%と最も高く、次いで「言葉は聞いたことがあるが意味は知らない」が 22.5%、「言葉も意味も知っている」が 13.5%の順となっている。

性別でみると、〈男性〉は〈女性〉より「言葉も意味も知っている」が 7.9 ポイント高くなっている。

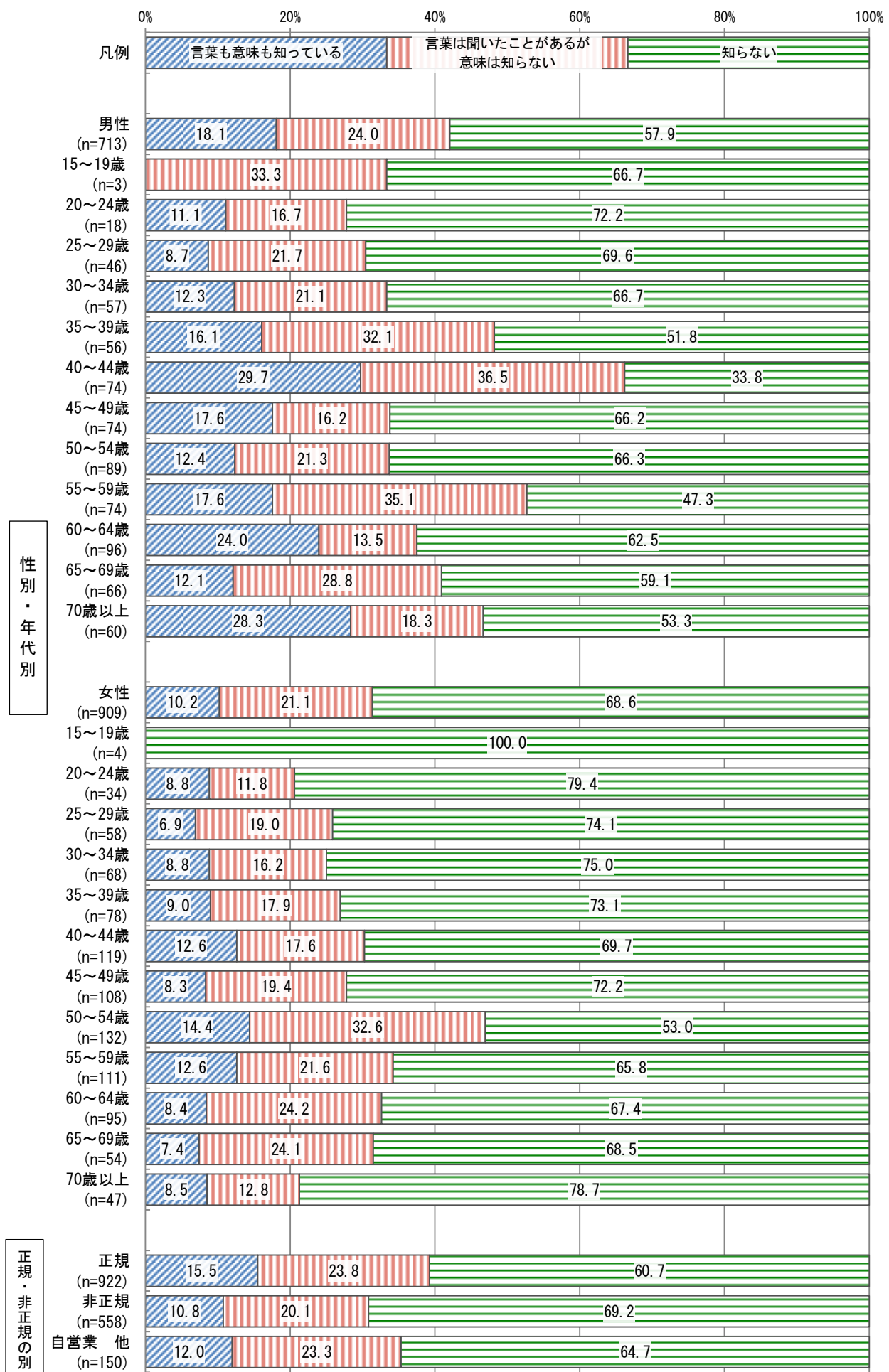
性別・年代別でみると、〈15～19 歳〉、〈50～54 歳〉を除くすべての層で〈男性〉は〈女性〉より「言葉も意味も知っている」が高くなっている。

正規・非正規の別でみると、大きな変化はみられない。

■リカレントの認知度〔回答数＝1,639〕



【性別・年代別／正規・非正規の別（リカレントの認知度）】



(3) リスキリングの経験

(3) あなたは、リスキリングの経験がありますか。「1. ある」と回答された方はその分野や学習形式、業務への効果など具体的な内容もお答えください。【○は1つ】

リスキリングについては、「ない」が 93.5%と最も高く、次いで「ある」が 6.5%の順となっている。

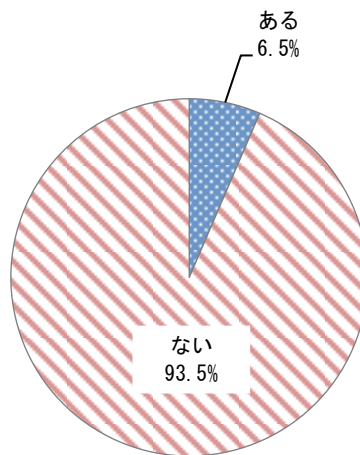
性別でみると、「ある」が<男性>では 5.2%、<女性>では 7.6%となっている。

性別・年代別でみると、「ある」について<男性>では<70 歳以上>が、<女性>では<65～69 歳>が最も高くなっている。

正規・非正規の別でみると、大きな違いはみられない。

業種別でみると、「ある」について<金融業、保険業>で 14.6%とすべての業種の中で最も高く、次いで<情報通信業>で 12.2%、<医療、福祉>で 10.7%の順となっている。

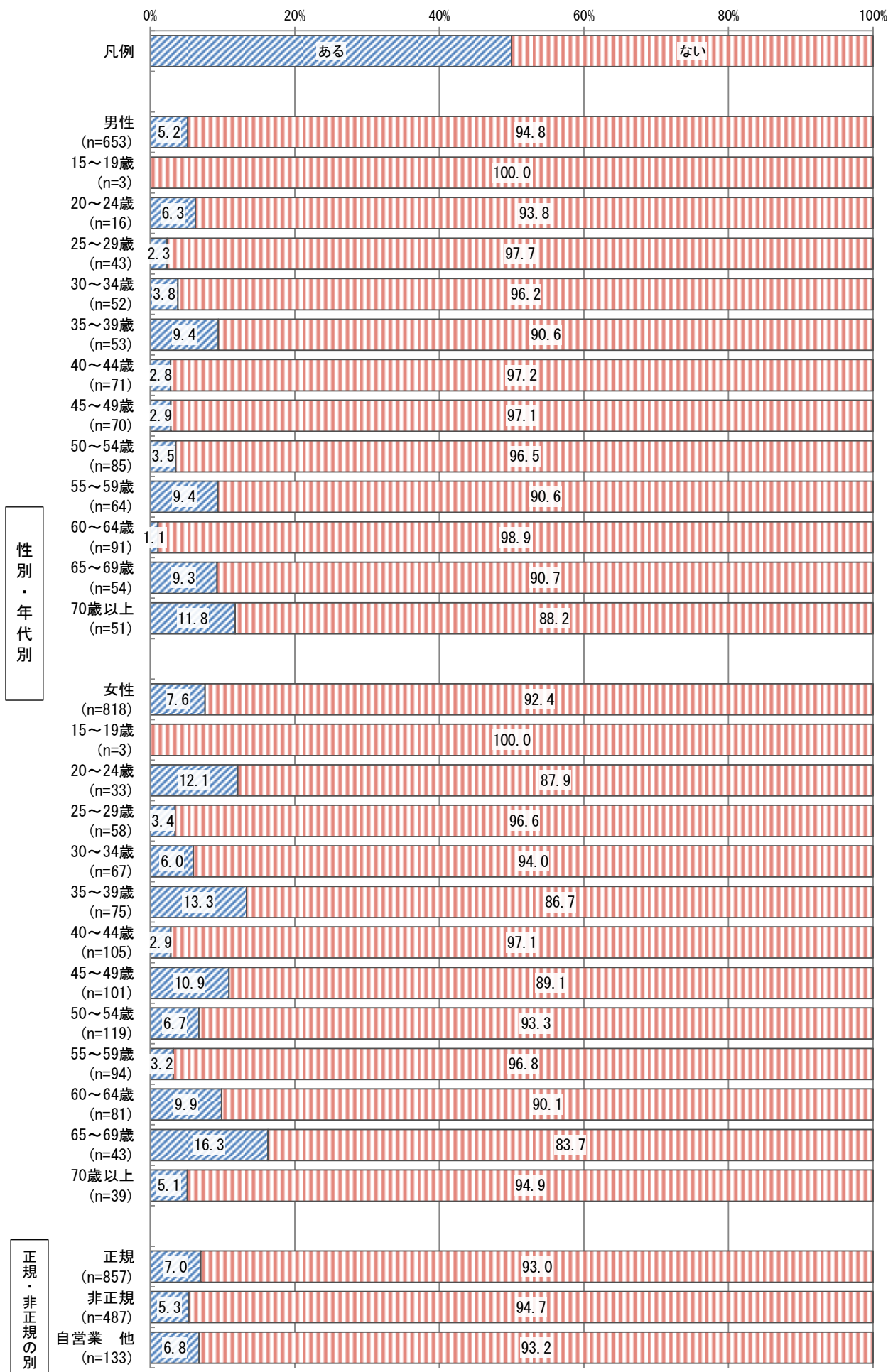
■ リスキリングの経験〔回答数 = 1,484〕



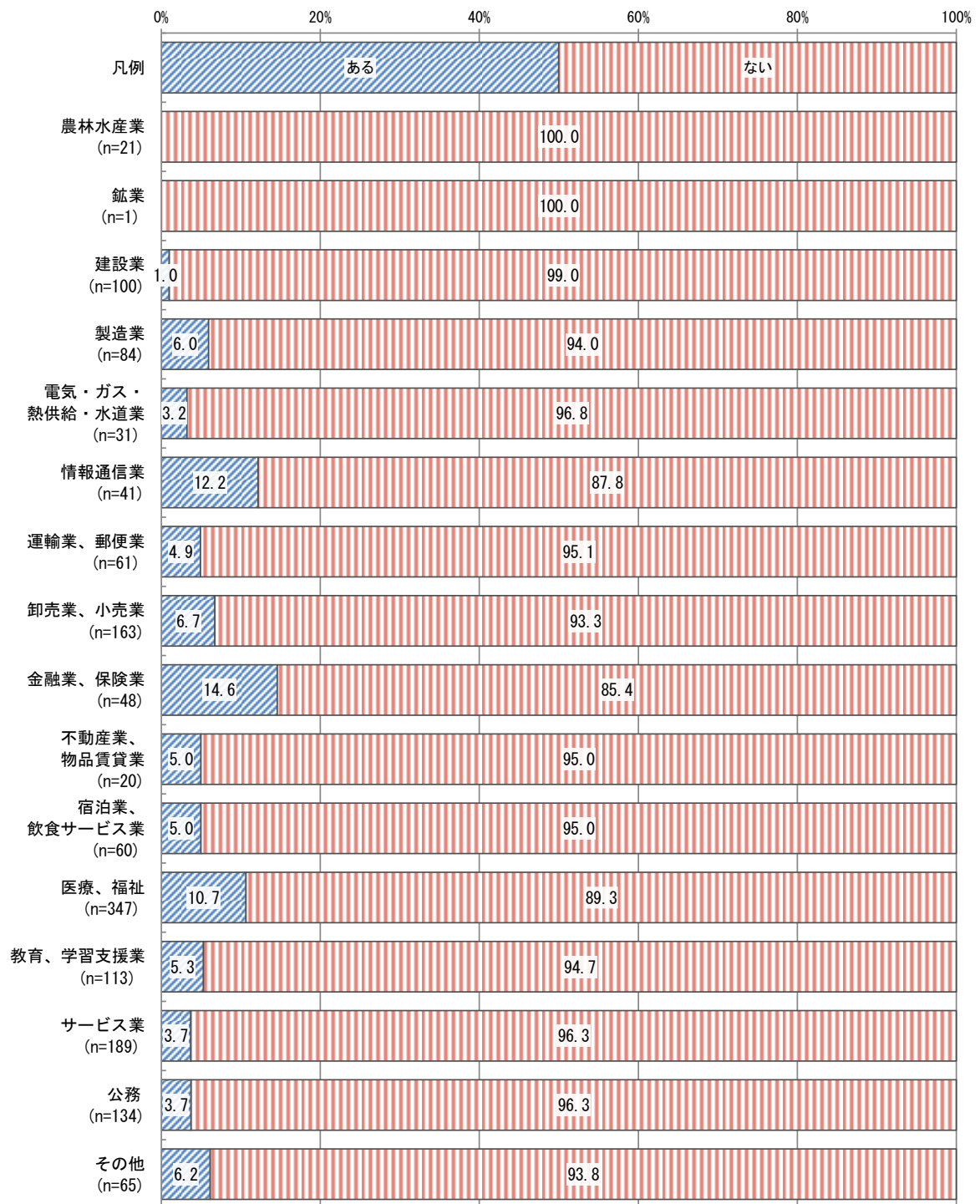
■ 「ある」と回答した人の具体的な内容（主なもの）

- ・資格取得（簿記、宅建資格、ファイナンシャルプランナー、ITパスポート、上級海技士免許）
- ・オンライン講座（zoom など）
- ・e-ラーニング
- ・派遣による研修（大学、他企業等へのOJT）
- ・新たな業務、部署に必要な技能の習得（事務、管理職）
- ・事業所の業務にかかわる研修（看護技術、保育、保険会社の関連法）
- ・新たな機械・設備導入に必要な技能の習得

【性別・年代別／正規・非正規の別（リスクリングの経験）】



【業種別（リスクリングの経験）】



C 副業・兼業について

(1) 勤め先の副業・兼業に関する方針

(1) お勤めの事業所の、副業・兼業に関する方針について当てはまるものは何ですか。【○は1つ】

勤め先の副業・兼業に関する方針については、「禁止している」が29.0%と最も高く、次いで「わからない」が23.9%、「特に取り決めはない」が15.8%の順となっている。

前回調査との比較では、「申請・許可制になっている」が5.7ポイント増加、「禁止している」が5.3ポイント減少している。

性別でみると、〈男性〉では「禁止している」が、〈女性〉では「わからない」が、それぞれ最も高くなっている。

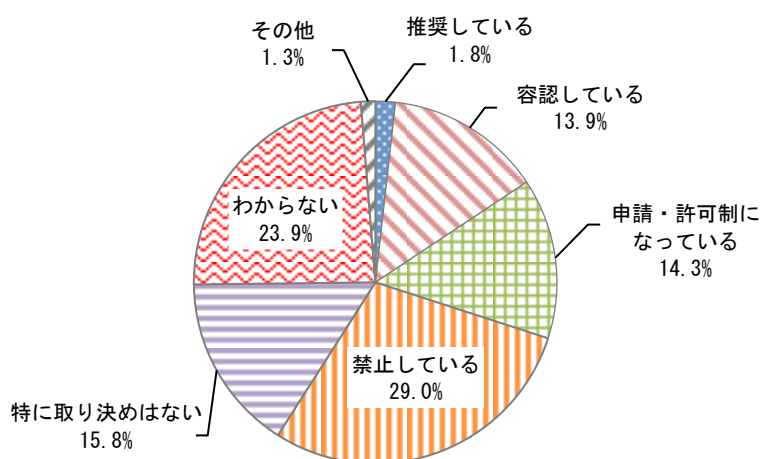
性別・年代別でみると、すべての層で「推奨している」が1割未満となっている。

また、〈男性〉の〈70歳以上〉では「特に取り決めはない」が38.3%と、他の層より11ポイント以上高くなっている。

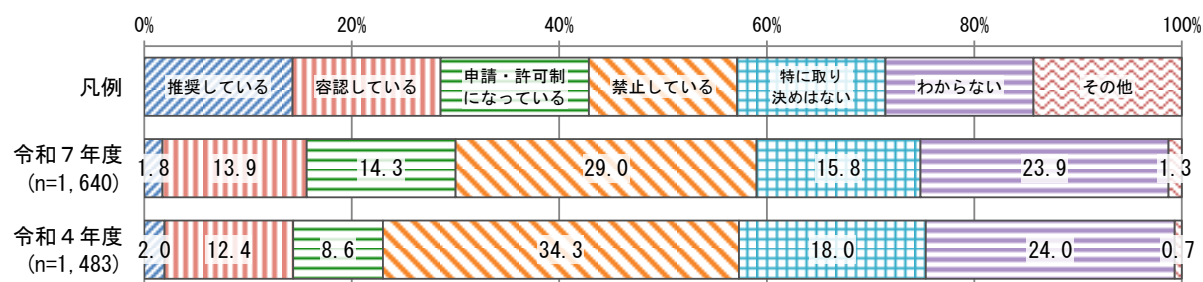
正規・非正規の別でみると、〈正規〉では「禁止している」が、〈非正規〉では「わからない」が、〈自営業 他〉では「特に取り決めはない」が、それぞれ最も高くなっている。

業種別でみると、〈宿泊業、飲食サービス業〉で「容認している」が26.6%と他の層より11ポイント以上、〈金融業、保険業〉で「申請・許可制になっている」が48.0%と他の層より20ポイント以上、〈公務〉で「禁止している」が54.9%と他の層より13ポイント以上、〈不動産業、物品賃貸業〉で「特に取り決めはない」が45.5%と他の層より12ポイント以上、それぞれ高くなっている。

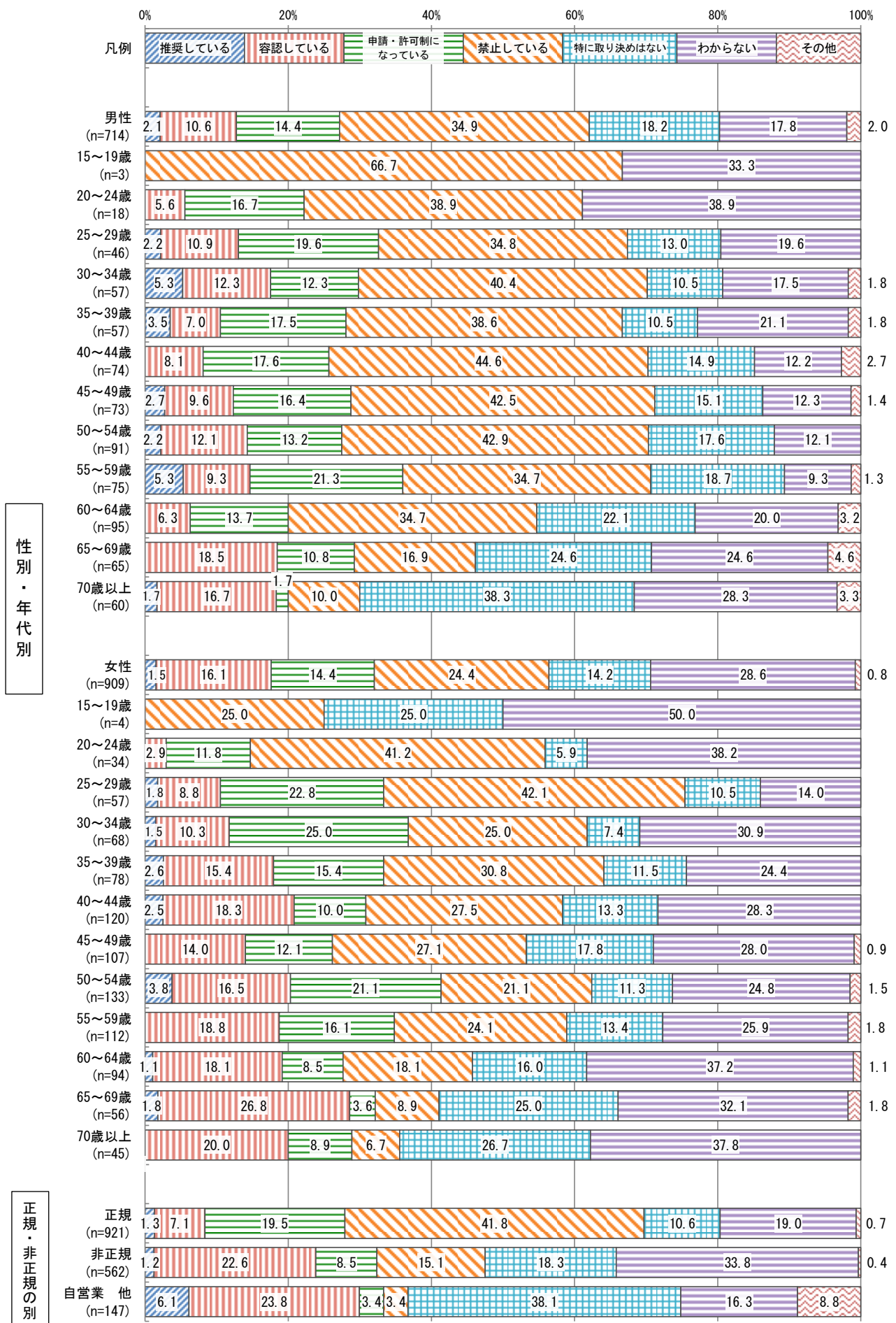
■ 勤め先の副業・兼業に関する方針〔回答数=1,640〕



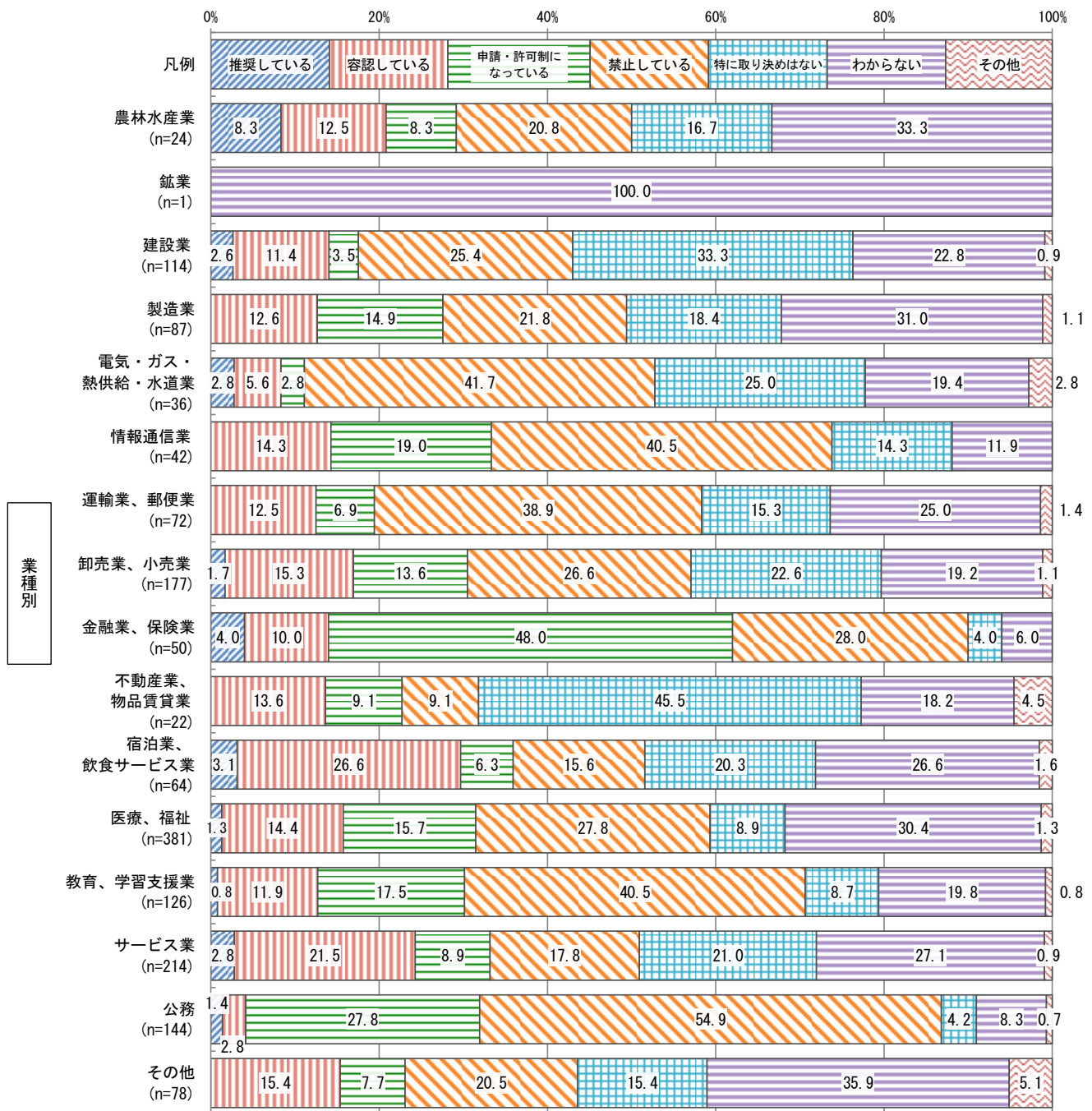
【前回調査との比較】



【性別・年代別／正規・非正規の別（勤め先の副業・兼業に関する方針）】



【業種別（勤め先の副業・兼業に関する方針）】



(2) 副業・兼業についての状況・考え

(2) 副業や兼業について、ご自分の状況や考えに当てはまるものは何ですか。【○はいくつでも】

副業・兼業についての状況・考えについては、「副業・兼業には関心がない」が40.6%と最も高く、次いで「副業・兼業で所得を得たい」が33.8%、「副業・兼業を行いたいが会社に制度がない」が14.6%の順となっている。

前回調査との比較では、大きな変化はみられない。

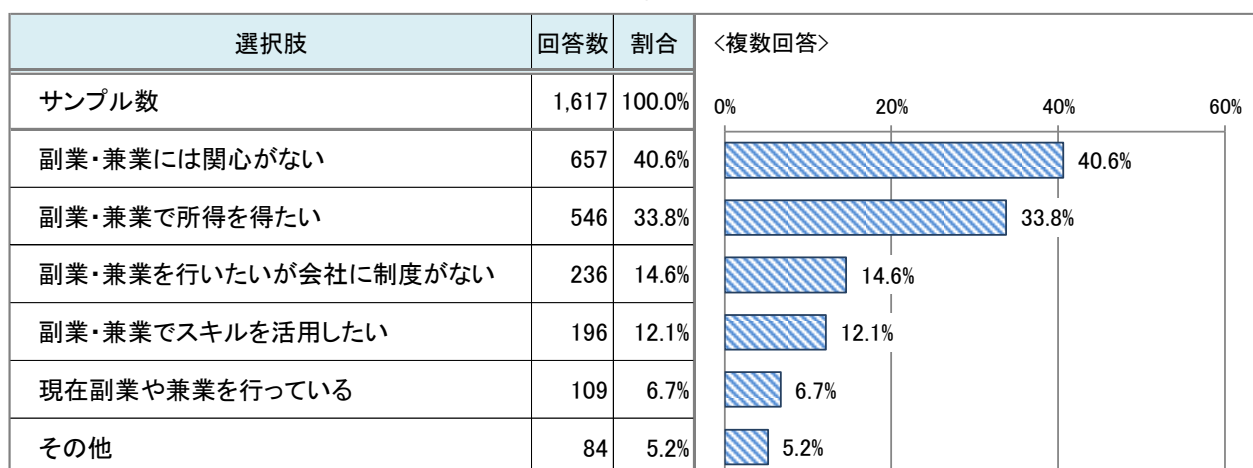
性別でみると、〈男性〉〈女性〉ともに「副業・兼業には関心がない」が最も高く、次いで「副業・兼業で所得を得たい」、「副業・兼業を行いたいが会社に制度がない」の順となっている。

性別・年代別でみると、「副業・兼業で所得を得たい」について〈男性〉では15～44歳と〈55～59歳〉で、〈女性〉では〈15～19歳〉と25～44歳の層で最も高くなっている。

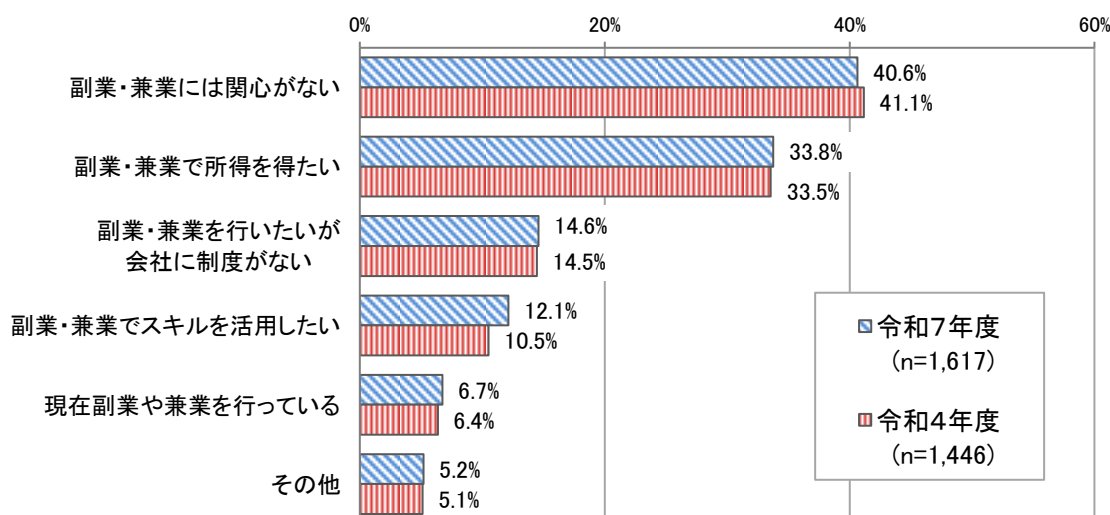
正規・非正規の別でみると、〈正規〉では「副業・兼業を行いたいが会社に制度がない」が21.1%と他の層と比較して14ポイント以上高くなっている。

事業所の副業・兼業に関する方針別でみると、〈推奨している〉では「現在副業や兼業を行っている」が37.9%と最も高くなっている。

■ 副業・兼業についての状況・考え〔回答数=1,617〕



【前回調査との比較】






【性別・年代別／正規・非正規の別（副業・兼業についての状況・考え）】

※ は第1位、 は第2位、 は第3位の項目

上段:回答数 下段:回答割合(%)			合計	現在 副業 や 兼業 を 行 っ て い る	副 業 ・ 兼 業 で 所 得 を 得 た い	副 業 ・ 兼 業 で ス キ ル を 活 用 し た い	副 業 ・ 兼 業 を 行 い た 制 度 が い い	副 業 ・ 兼 業 に は 関 心 が な い	そ の 他
性別・年代別	男性	小計	707	50	233	87	124	287	34
			100%	7.1%	33.0%	12.3%	17.5%	40.6%	4.8%
		15～19歳	3	0	1	0	1	0	1
			100%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%
		20～24歳	18	2	6	3	4	6	0
			100%	11.1%	33.3%	16.7%	22.2%	33.3%	0.0%
		25～29歳	46	3	17	5	11	13	2
			100%	6.5%	37.0%	10.9%	23.9%	28.3%	4.3%
		30～34歳	57	5	24	8	13	20	3
			100%	8.8%	42.1%	14.0%	22.8%	35.1%	5.3%
		35～39歳	56	1	29	11	14	16	2
			100%	1.8%	51.8%	19.6%	25.0%	28.6%	3.6%
		40～44歳	73	5	33	10	16	22	2
			100%	6.8%	45.2%	13.7%	21.9%	30.1%	2.7%
		45～49歳	72	3	23	7	15	27	3
			100%	4.2%	31.9%	9.7%	20.8%	37.5%	4.2%
		50～54歳	91	4	31	12	18	35	6
			100%	4.4%	34.1%	13.2%	19.8%	38.5%	6.6%
		55～59歳	73	8	27	9	10	27	2
			100%	11.0%	37.0%	12.3%	13.7%	37.0%	2.7%
		60～64歳	95	6	20	9	15	45	7
			100%	6.3%	21.1%	9.5%	15.8%	47.4%	7.4%
		65～69歳	64	9	14	8	5	34	5
			100%	14.1%	21.9%	12.5%	7.8%	53.1%	7.8%
		70歳以上	59	4	8	5	2	42	1
			100%	6.8%	13.6%	8.5%	3.4%	71.2%	1.7%
	女性	小計	894	58	305	107	109	367	49
			100%	6.5%	34.1%	12.0%	12.2%	41.1%	5.5%
		15～19歳	4	0	3	0	0	1	0
			100%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%
		20～24歳	34	2	9	4	9	13	2
			100%	5.9%	26.5%	11.8%	26.5%	38.2%	5.9%
		25～29歳	57	2	26	8	13	21	1
			100%	3.5%	45.6%	14.0%	22.8%	36.8%	1.8%
		30～34歳	67	3	26	11	14	26	1
			100%	4.5%	38.8%	16.4%	20.9%	38.8%	1.5%
		35～39歳	77	2	31	13	16	21	3
			100%	2.6%	40.3%	16.9%	20.8%	27.3%	3.9%
		40～44歳	119	10	55	20	15	32	5
			100%	8.4%	46.2%	16.8%	12.6%	26.9%	4.2%
		45～49歳	107	7	35	9	14	47	6
			100%	6.5%	32.7%	8.4%	13.1%	43.9%	5.6%
		50～54歳	132	9	46	19	11	48	9
			100%	6.8%	34.8%	14.4%	8.3%	36.4%	6.8%
		55～59歳	110	10	32	9	10	56	3
			100%	9.1%	29.1%	8.2%	9.1%	50.9%	2.7%
		60～64歳	94	4	27	9	6	47	7
			100%	4.3%	28.7%	9.6%	6.4%	50.0%	7.4%
		65～69歳	50	5	6	3	1	30	6
			100%	10.0%	12.0%	6.0%	2.0%	60.0%	12.0%
		70歳以上	42	4	8	2	0	25	6
			100%	9.5%	19.0%	4.8%	0.0%	59.5%	14.3%
非正規の別	正規		915	32	324	116	193	354	34
				100%	3.5%	35.4%	12.7%	21.1%	3.7%
	非正規		549	51	168	56	38	251	31
				100%	9.3%	30.6%	10.2%	6.9%	45.7%
	自営業 他		143	24	49	24	4	49	19
				100%	16.8%	34.3%	16.8%	2.8%	34.3%

【事業所の副業・兼業に関する方針別（副業・兼業についての状況・考え）】

※  は第1位、 は第2位、 は第3位の項目

上段: 回答数 下段: 回答割合(%)		合計	行現 つ在 て副 業や 兼業 を	得副 た業 い・ 兼業 で所 得を	を副 活用 した いス キル	いい副 が業・ 会・社 に制度 を行が いた	が副 な業・ 兼業 には関 心	その他
全体		1617	109	546	196	236	657	84
		100%	6.7%	33.8%	12.1%	14.6%	40.6%	5.2%
事業所 関する 副業・ 兼業に 別	推奨している	29	11	10	9	0	4	3
		100%	37.9%	34.5%	31.0%	0.0%	13.8%	10.3%
	容認している	227	33	79	36	7	85	12
		100%	14.5%	34.8%	15.9%	3.1%	37.4%	5.3%
	申請・許可制になっている	233	20	97	40	5	96	9
		100%	8.6%	41.6%	17.2%	2.1%	41.2%	3.9%
	禁止している	473	7	157	49	196	154	8
		100%	1.5%	33.2%	10.4%	41.4%	32.6%	1.7%
	特に取り決めはない	256	24	79	26	8	121	16
		100%	9.4%	30.9%	10.2%	3.1%	47.3%	6.3%
	わからない	378	11	120	34	19	191	28
		100%	2.9%	31.7%	9.0%	5.0%	50.5%	7.4%